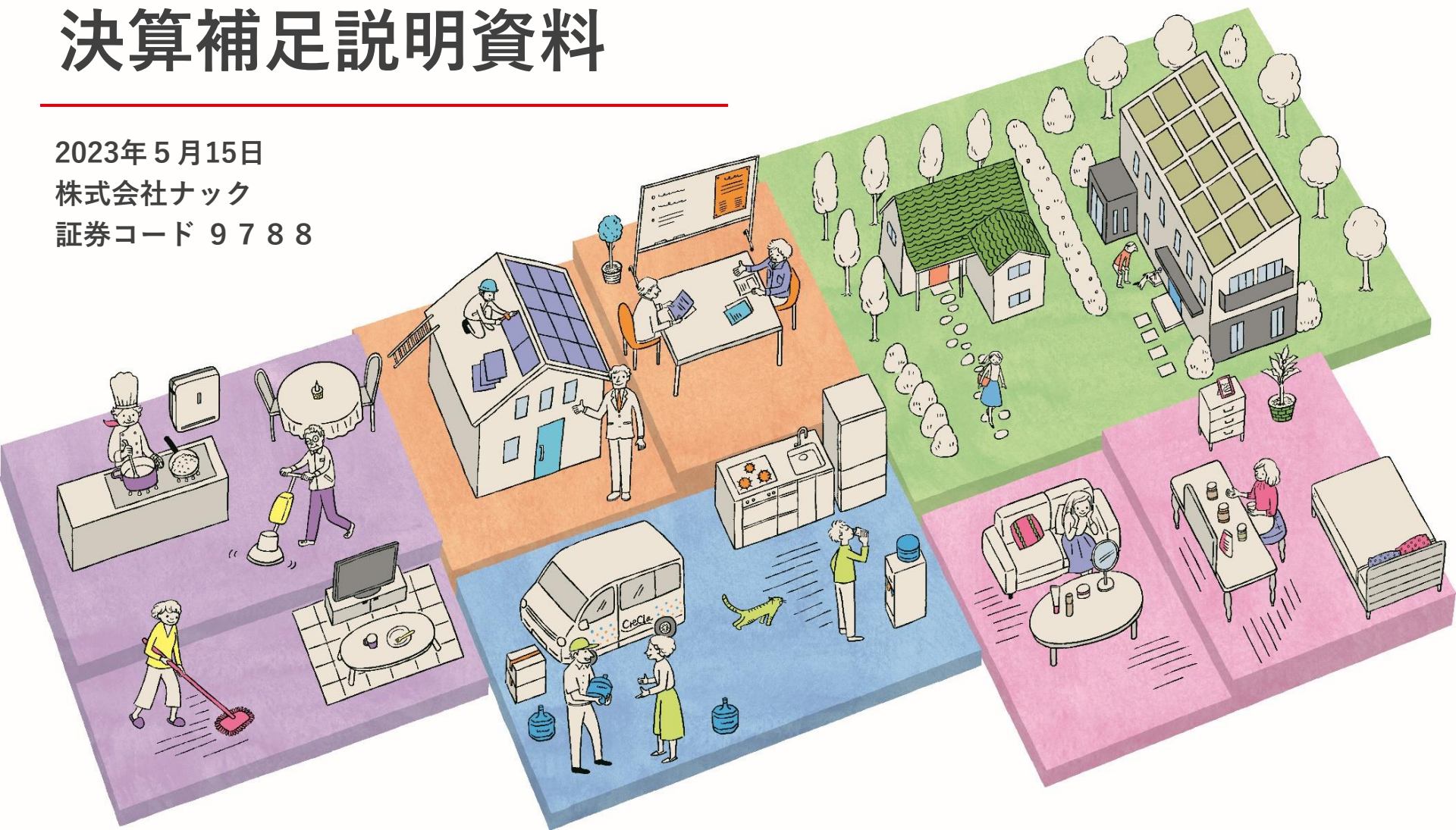


2023年3月期 決算補足説明資料

2023年5月15日
株式会社ナック
証券コード 9788



決算説明会は、2023年6月12日（月）に、オンライン形式にて開催予定です。
本資料は、2023年3月期決算をよりご理解いただくために、参考までに作成している資料です。

— 本資料の記載内容 —

01	2023年3月期の実績	…	P. 2
02	セグメント別業績	…	P. 14
03	業績予想	…	P. 34
04	配当	…	P. 38
05	中期経営計画	…	P. 40
06	会社概要	…	P. 47

注意事項：

本資料に記載されている業績目標等は、いずれも当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想値であり、これらは経済環境、競争状況、また新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

したがって、実際の業績は本資料に記載されている予想とは大きく異なる場合がありますことをご承知おきください。

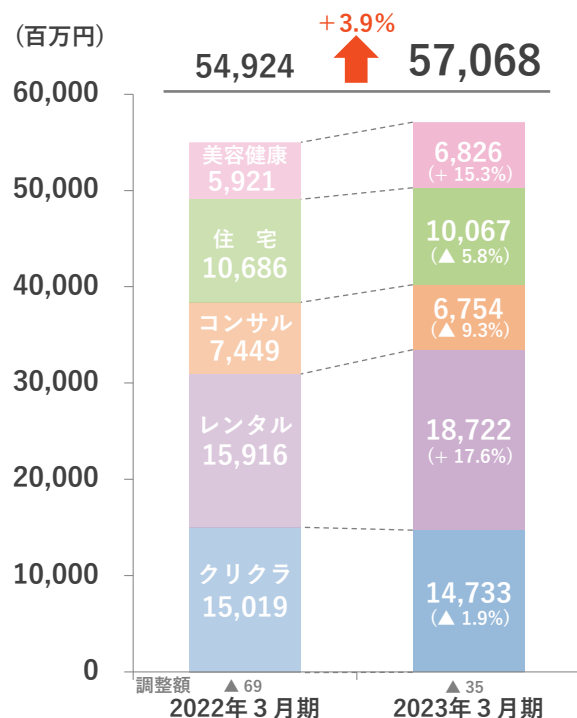
01 2023年3月期の実績

1-1. 連結損益計算書

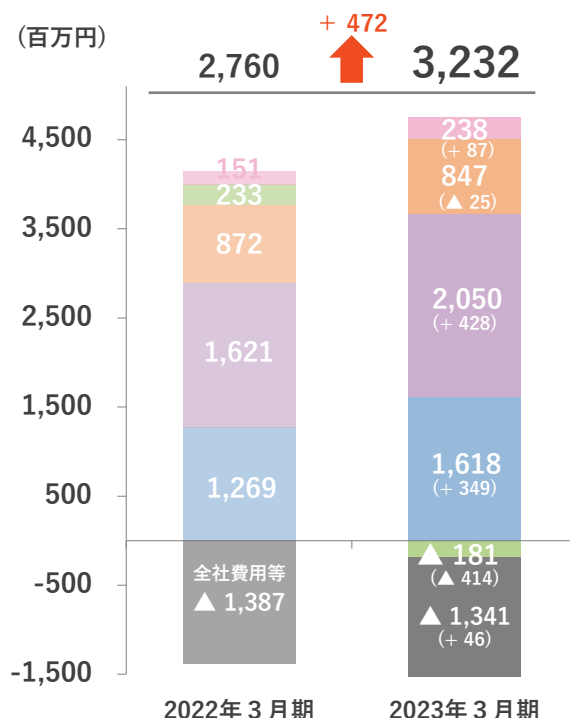
1-1a 業績ハイライト (前期比)

- 売上高**
 - レンタル** (株)アーネストにおいて感染症関連事業が奏功、またダスキン事業およびウィズ事業での一部商品値上げにより前期比で増加
 - 美容健康** (株)JIMOSの新ブランド取扱開始、(株)トレミーの受注数増加により前期比で増加
 - コンサル** 建築部資材の高騰やコロナ関連融資の返済開始などにより、コンサルティング部門の主要顧客である地場工務店の購買意欲が低下したため前期比で減少
- 営業利益**
 - レンタル** 全部門における売上高増加が寄与し前期比で増加
 - クリクラ** クリクラボトルの値上げや販促活動の見直しにより前期比で増加
- 当期純利益** 営業利益の増加により前期比で増加

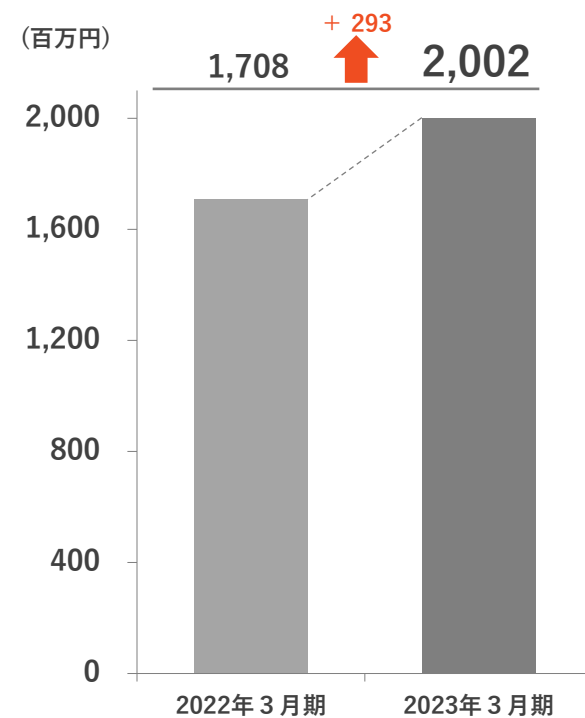
売上高 (カッコ内は増減率)



営業損益 (カッコ内は増減額)



当期純利益(※)



(※) 当期純利益：親会社株主に帰属する当期純利益、調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

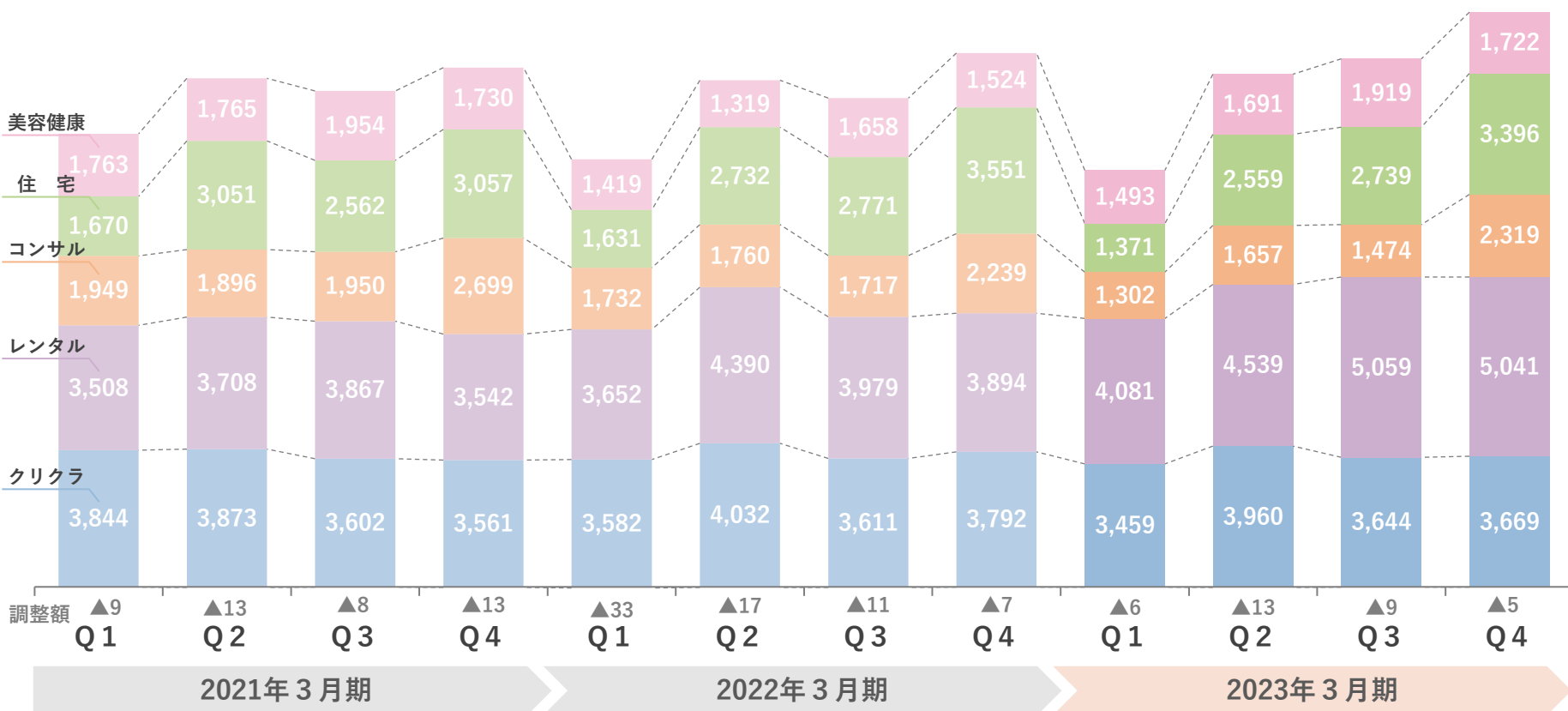
1-1b 四半期別 売上高／営業利益の四半期推移

2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高											
12,727	14,281	13,927	14,577	11,984	14,218	13,727	14,993	11,702	14,394	14,827	16,149
営業利益											
211	614	871	1,084	185	848	856	871	▲ 243	795	975	1,705

売上高四半期推移

※建築コンサルティング事業、住宅事業の売上高がQ4に集中する反動として、Q1の売上高は減少しています。

(百万円)



◆調整額：セグメント間の内部売上高又は振替高

1-1c 連結損益計算書

(百万円)

	2023年3月期 実績	計画比		前期比	
		当期計画	達成率	前期実績	増減率
売上高	57,068	60,000	95.1%	54,924	+ 3.9%
売上総利益	27,737	—	—	26,952	+ 2.9%
(売上総利益率)	48.6%	—	—	49.1%	▲ 0.5pt
販売費及び一般管理費	24,505	—	—	24,191	+ 1.3%
営業利益	3,232	3,000	107.8%	2,760	+ 17.1%
(営業利益率)	5.7%	—	—	5.0%	+ 0.7pt
営業外損益	10	—	—	32	▲ 67.1%
経常利益	3,243	3,000	108.1%	2,792	+ 16.1%
特別損益	▲ 38	—	—	▲ 56	—
親会社株主に帰属する当期純利益	2,002	2,000	100.1%	1,708	+ 17.2%

1-1d セグメント別売上高

(百万円)

	2023年3月期 実績	計画比		前期比	
		計画	達成率	実績	増減率
ク リ ク ラ 事 業	14,733	15,000	98.2%	15,019	▲ 1.9%
レ ン タ ル 事 業	18,722	16,200	115.6%	15,916	+ 17.6%
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	6,754	8,500	79.5%	7,449	▲ 9.3%
住 宅 事 業	10,067	12,000	83.9%	10,686	▲ 5.8%
美 容 ・ 健 康 事 業	6,826	8,300	82.2%	5,921	+ 15.3%
消 去 調 整 他	▲ 35	—	—	▲ 69	—
合 計	57,068	60,000	95.1%	54,924	+ 3.9%

1-1e セグメント別営業利益

(百万円)

	2023年3月期 実績	計画比		前期比	
		計画	達成率	実績	増減率
ク リ ク ラ 事 業	1,618 (11.0%)	1,500 (10.0%)	107.9% (+ 1.0pt)	1,269 (8.5%)	+ 27.5% (+ 2.5pt)
レ ン タ ル 事 業	2,050 (11.0%)	1,600 (9.9%)	128.1% (+ 1.1pt)	1,621 (10.2%)	+ 26.4% (+ 0.8pt)
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	847 (12.5%)	1,000 (11.8%)	84.7% (+ 0.7pt)	872 (11.7%)	▲ 2.9% (+ 0.8pt)
住 宅 事 業	▲ 181 (▲ 1.8%)	230 (1.9%)	— (▲ 3.7pt)	233 (2.2%)	— (▲ 4.0pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	238 (3.5%)	350 (4.2%)	68.3% (▲ 0.7pt)	151 (2.6%)	+ 58.2% (+ 0.9pt)
全 社 費 用 等	▲ 1,341	▲ 1,680	—	▲ 1,387	—
合 計	3,232 (5.7%)	3,000 (5.0%)	107.8% (+ 0.7pt)	2,760 (5.0%)	+ 17.1% (+ 0.7pt)

※カッコ内の数値は売上高に対する営業利益率です。

1-1f 営業利益の増減要因（前年同期比）

売上総利益

レンタル

全部門における売上高増加により前期比で増加

▶ 主たる要因は、(株)アーネストにおける感染症対策事業の奏功

美容健康

(株)JIMOSの新ブランド取扱開始および(株)トレミーの受注数増加による売上高増加が寄与

広告宣伝費及び販売促進費

住宅

(株)ジェイウッドにおいて、集客促進のため広告投資を前倒しで実施

美容健康

(株)JIMOSにおいて、新規顧客獲得のため広告投資を積極的に実施

		(百万円)	
			前年同期比増減率
2022年3月期	営業利益	2,760	—
	売上総利益の増減	+ 785	+ 2.9%
	人件費	▲ 0	▲ 0.0%
	広告宣伝費及び販売促進費	▲ 125	▲ 4.1%
販売費及び一般管理費の増減	地代家賃	▲ 35	▲ 2.3%
	減価償却費・のれん償却額	▲ 9	▲ 1.1%
	その他の販管費	▲ 142	▲ 1.6%
2023年3月期	営業利益	3,232	—

01 2023年3月期の実績

1-2. 連結貸借対照表

1-2a 連結貸借対照表 資産の部

流動資産 **増加** 販売用不動産 + 534百万円
減少 現金及び預金 ▲ 1,257百万円

固定資産 特記事項なし

(百万円)					
	2023年3月期	構成比	2022年3月期	構成比	増減額
流動資産	24,875	64.2%	25,091	63.2%	▲ 215
有形固定資産	8,225	21.2%	8,720	22.0%	▲ 494
無形固定資産	1,477	3.8%	1,890	4.8%	▲ 413
投資その他の資産	4,157	10.7%	4,022	10.1%	+ 135
固定資産	13,860	35.8%	14,633	35.8%	▲ 772
資産合計	38,735	100.0%	39,724	100.0%	▲ 988

1-2b 連結貸借対照表 負債の部・純資産の部

負債 減少 長期借入金 ▲ 647百万円 / 短期借入金 ▲ 400百万円

純資産 増加 利益剰余金 + 1,117百万円

(百万円)					
	2023年3月期	構成比	2022年3月期	構成比	増減額
流動負債	11,470	29.6%	12,576	31.7%	▲ 1,105
固定負債	4,060	10.5%	5,009	12.6%	▲ 948
負債合計	15,531	40.1%	17,585	44.3%	▲ 2,054
株主資本	23,775	61.4%	22,627	57.0%	+ 1,148
その他の包括利益累計額	▲ 571	▲ 1.5%	▲ 563	▲ 1.4%	▲ 7
非支配株主持分	—	—	74	0.2%	▲ 74
純資産合計	23,204	59.9%	22,138	55.7%	+ 1,065
負債・純資産合計	38,735	100.0%	39,724	100.0%	▲ 988

01 2023年3月期の実績

1-3. 連結キャッシュフロー計算書

1-3 連結キャッシュフロー計算書

営業CF	増加	税金等調整前当期純利益 + 3,204百万円
	減少	法人税等の支払額 ▲ 1,112百万円 / 減価償却費 ▲ 1,021百万円 / 売上債権の増加 ▲ 796百万円
投資CF	減少	有形固定資産の取得による支出 ▲ 194百万円 / 投資有価証券の取得による支出 ▲ 178百万円
財務CF	減少	長期借入金の返済による支出 ▲ 1,917百万円 / 配当金の支払額 ▲ 880百万円

	2023年3月期	2022年3月期	増減額
1.営業活動によるキャッシュフロー	1,709	2,847	▲ 1,137
2.投資活動によるキャッシュフロー	▲ 361	▲ 1,107	+ 746
3.財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,555	▲ 3,743	+ 1,188
現金及び現金同等物の増減額	▲ 1,206	▲ 2,001	+ 795
現金及び現金同等物の期首残高	12,187	14,188	▲ 2,001
非連結子会社との合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	48	—	+ 48
現金及び現金同等物の期末残高	11,029	12,187	▲ 1,157
減価償却費	1,021	1,020	+ 0

02 セグメント別業績

2-1. クリクラ事業

2-1a クリクラ事業 売上高および営業利益推移

売上高

直営部門

- ・ 宅配水「クリクラ」では顧客件数微減もクリクラボトルの値上げ（2022年10月）により前期比で増加
- ・ 次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」では顧客件数増加も顧客単価低下により前期比で減少

加盟店部門

加盟店へのサーバー販売価格の値上げ（2022年4月）により関連商材を含む販売数が鈍化、またプラント関連売上も減少し、前期比で減少

営業利益

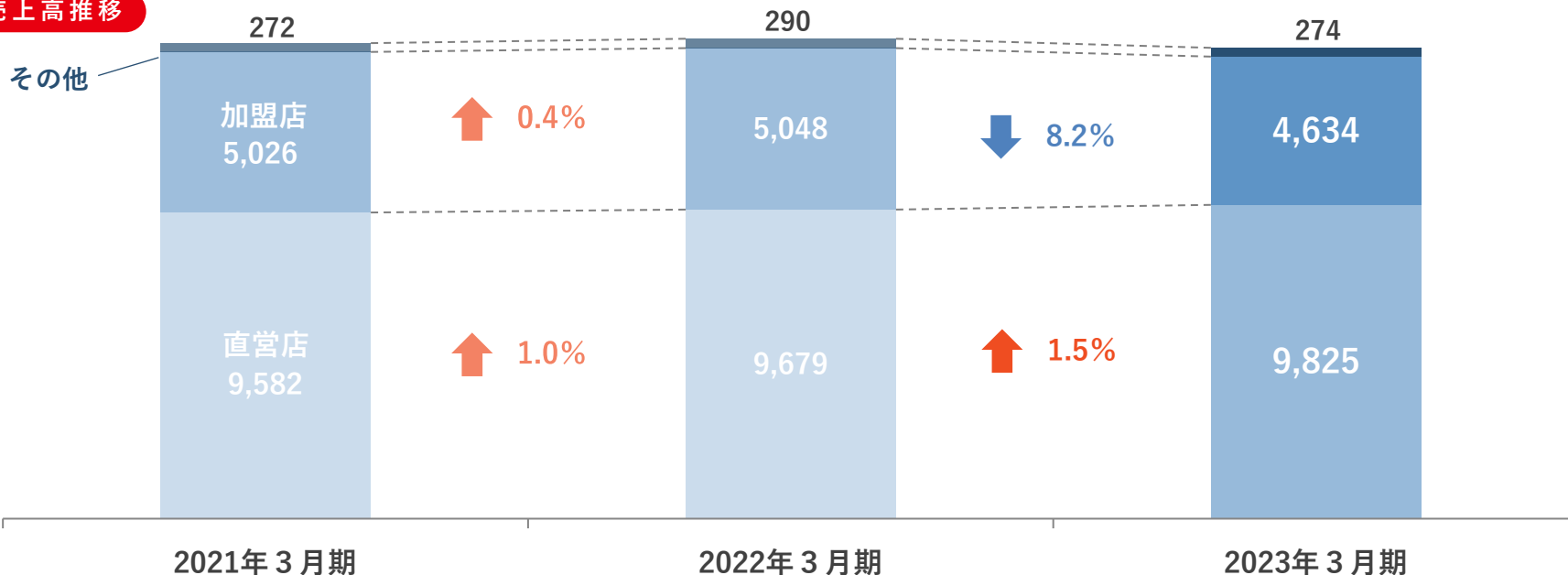
クリクラボトルの値上げおよびセールス人員の削減などによる販促活動の見直しにより前期比で大幅に増加

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	14,881	15,019	14,733

(百万円)

営業利益	1,627	1,269	1,618
------	-------	-------	-------

売上高推移

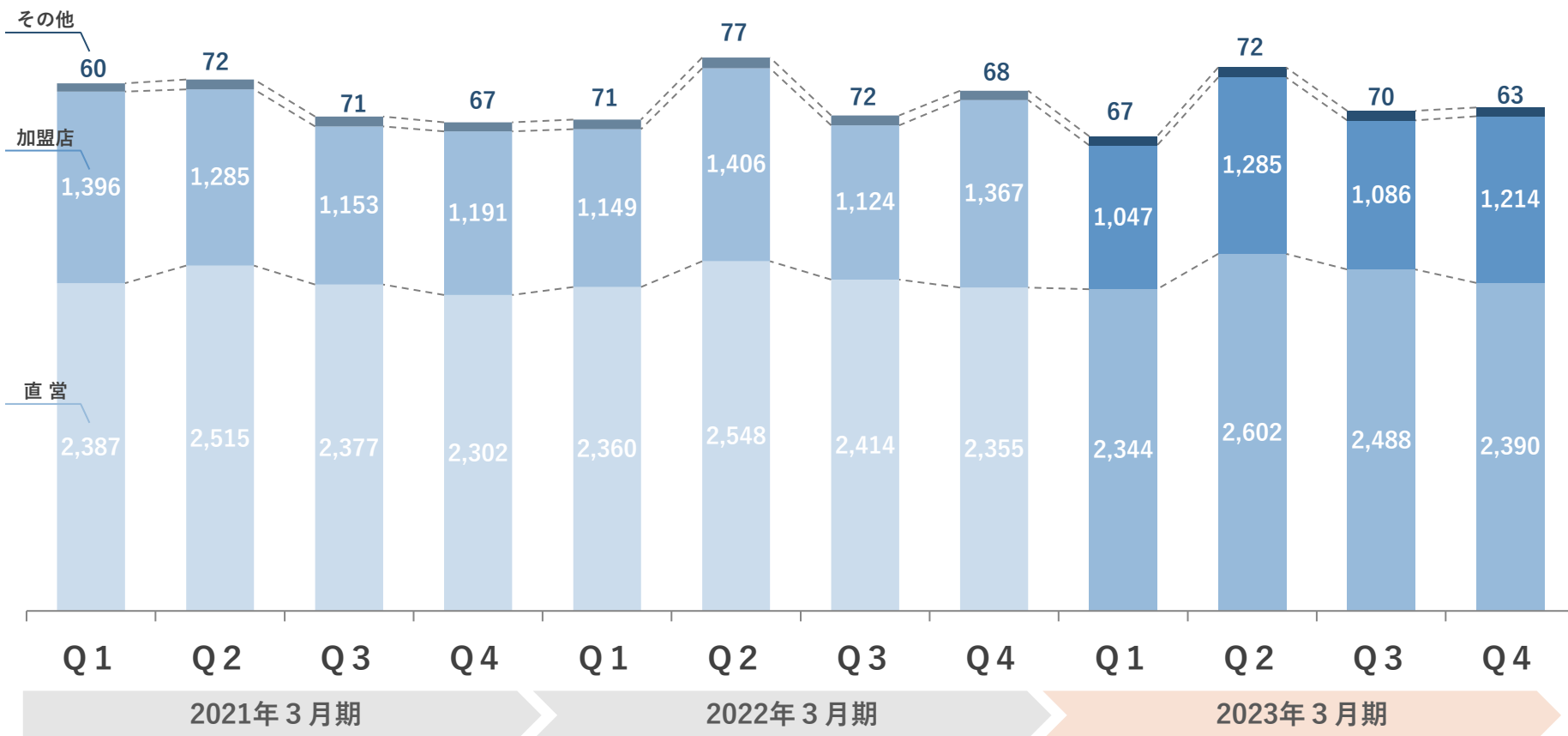


2-1b クリクラ事業 売上高／営業利益の四半期推移

2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高											
3,844	3,873	3,602	3,561	3,582	4,032	3,611	3,792	3,459	3,960	3,644	3,669
営業利益											
491	442	371	321	169	401	286	411	125	584	474	434

売上高四半期推移

(百万円)



2-1c クリクラ事業 第53期以降の重点施策

- 顧客件数の拡大 ▶ 主にショッピングモール等でのイベント営業を中心とする販促活動の強化
 - ▶ 浄水型ウォーターサーバー「feel free（フィールフリー）」をはじめとした新サーバー・新サービスの開発・提供
 - ▶ システムインフラ「CrePF（クリクラプラットフォーム）」の活用
- 人材の確保と育成体制の強化
- さまざまなメディアを活用したクロスメディア戦略
- 2023年4月1日に(株)クリクラ長崎を連結子会社化



feel free ZiACO



クリクラFit

マルチサーバー
クリクラShuwa

浄水型ウォーターサーバー



02 セグメント別業績

2-2. レンタル事業

2-2a レンタル事業 売上高および営業利益推移

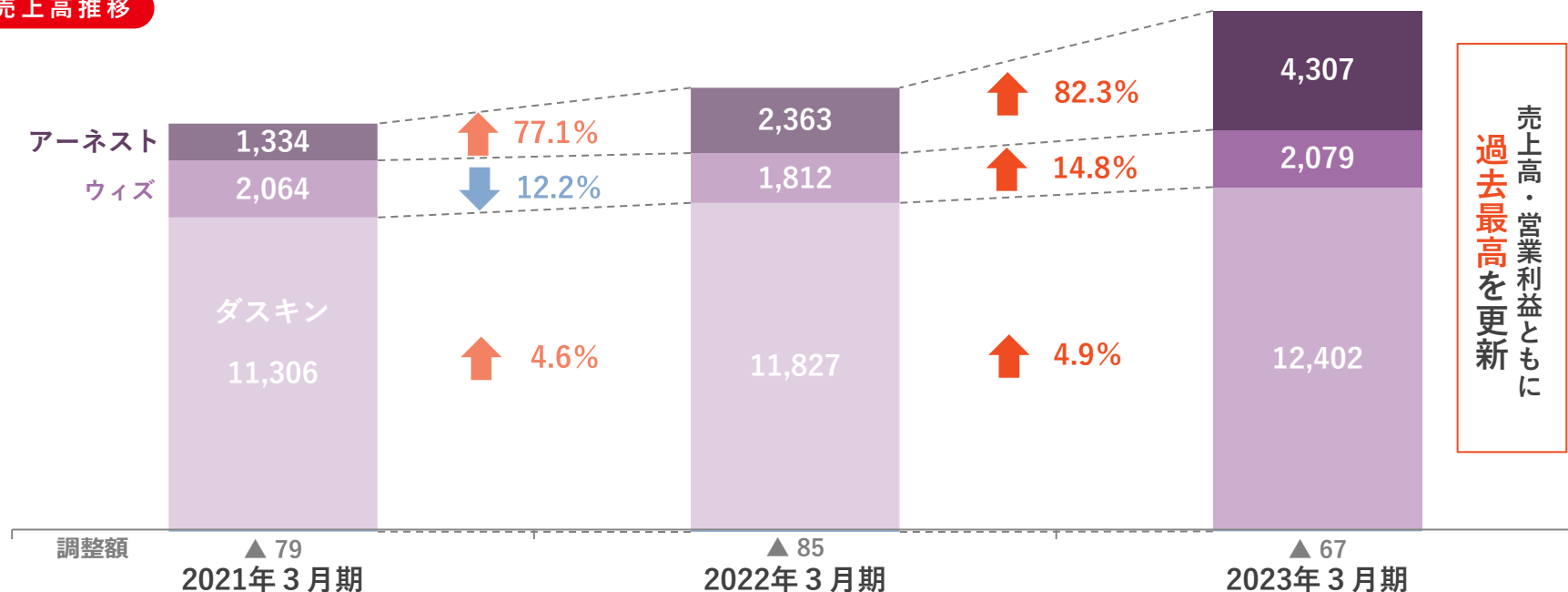
- 売上高**
- ダスキン** ダストコントロール部門における一部商品の値上げ（2022年7月）およびケアサービス部門の事業拡大により前期比で増加
 - ウィズ** 飲食店の営業再開に伴う定期納品の回復および一部商品の値上げ（2022年7月）により前期比で増加
 - アーネスト** 感染症関連事業（厚労省が実施する水際対策の支援事業）の奏功により前期比で大幅に増加

営業利益 主にケアサービス部門の事業拡大に伴う経費増加を全部門の売上高増加が補い前期比で増加

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	14,626	15,916	18,722
営業利益	1,333	1,621	2,050

(百万円)

売上高推移



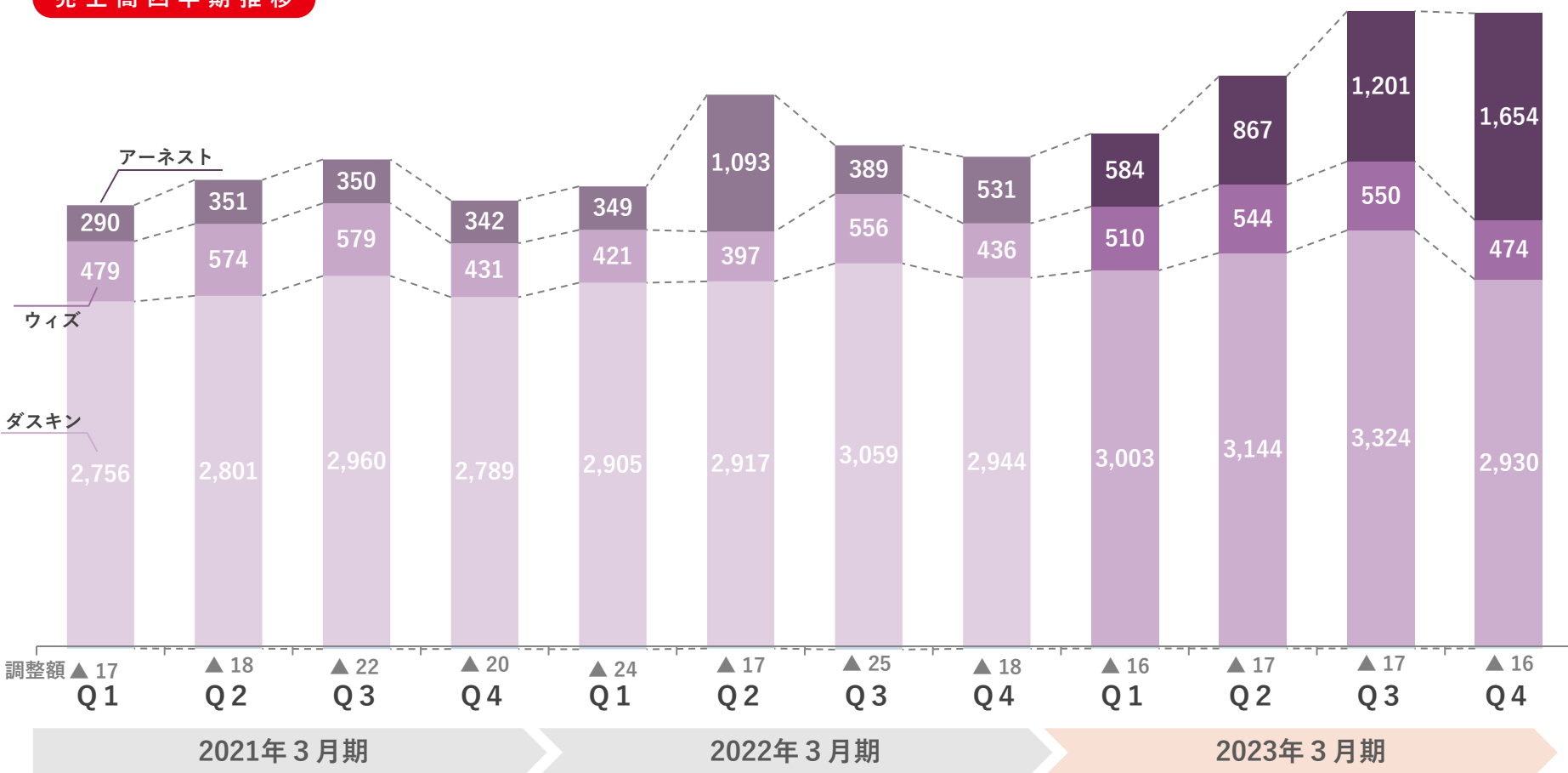
◆調整額：主にセグメント内の売上高

2-2b レンタル事業 売上高／営業利益の四半期推移

2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高											
3,508	3,708	3,867	3,542	3,652	4,390	3,979	3,894	4,081	4,539	5,059	5,041
営業利益											
267	328	446	290	290	424	458	448	414	469	630	535

売上高四半期推移

(百万円)



◆調整額：主にセグメント内の売上高

2-2c レンタル事業 第53期以降の重点施策

ダスキン

- ・(株)ダスキンとの資本業務提携による計画推進
 - ▶ ケアサービス部門：提携後の82事業※追加に加え、28事業を追加
 - ▶ ヘルスレント部門：提携後の7店舗※出店に加え、3店舗を追加
 - ・感染症で変化したライフスタイルに対応した新商品・新サービスの提供
- 主要顧客である飲食店の営業再開を追い風に、営業活動を強化・効率化
- 感染症関連事業の継続とそれ以外の分野における各省庁との連携強化

ウィズ

アーネスト

※2023年3月末時点の事業数

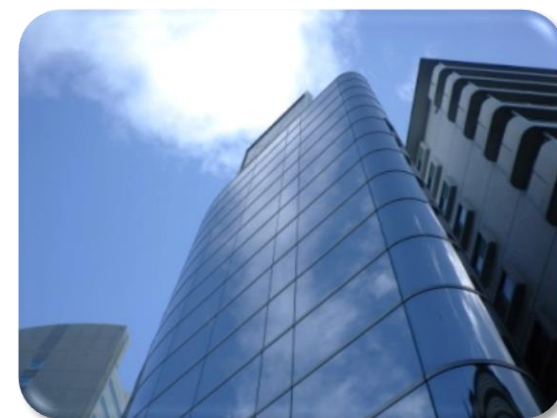


衛生環境を整える
DUSKIN

Health
Rent
ヘルスレント



with



EARNEST
総合ビル管理 株式会社アーネスト

～NEW OPEN～

- 2022年4月 ダスキン名古屋支店
- 2022年12月 ヘルスレント台東ステーション
- 2023年2月 ヘルスレント江東ステーション

02 セグメント別業績

2-3. 建築コンサルティング事業

2-3a 建築コンサルティング事業 売上高および営業利益推移

- 売上高**
- コンサル** 建築部資材の高騰やコロナ関連融資の返済開始などにより、コンサルティング部門の主要顧客である地場工務店の購買意欲が低下したため前期比で減少
 - NSE** 滞留していた納品ペースが回復に向かい前期比で同水準（微増）
 - エースホーム** 加盟店での上棟数減少に伴う卸売り減少により前期比で減少

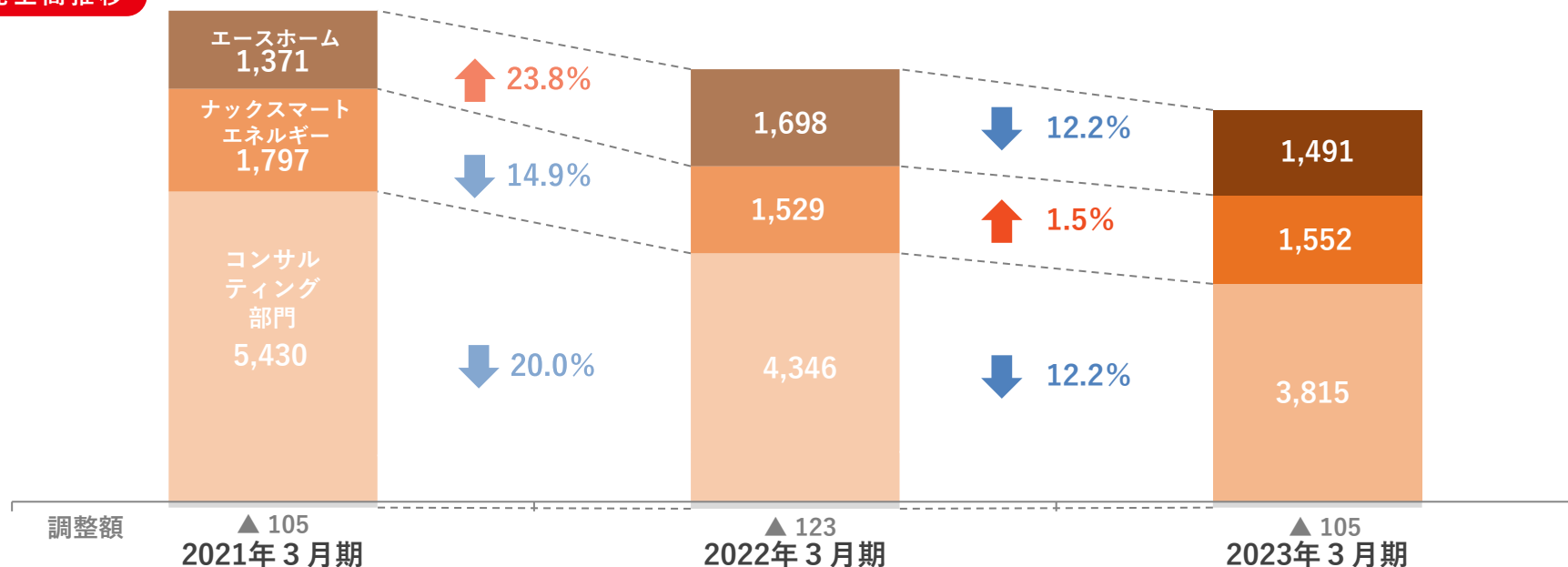
営業利益 売上総利益率の高いコンサルティング部門における売上高減少により前期比で同水準（微減）

(注) NSE：ナックススマートエネルギー(株)

(百万円)

売上高	8,495	7,449	6,754
営業利益	807	872	847

売上高推移



◆調整額：主にセグメント内の売上高

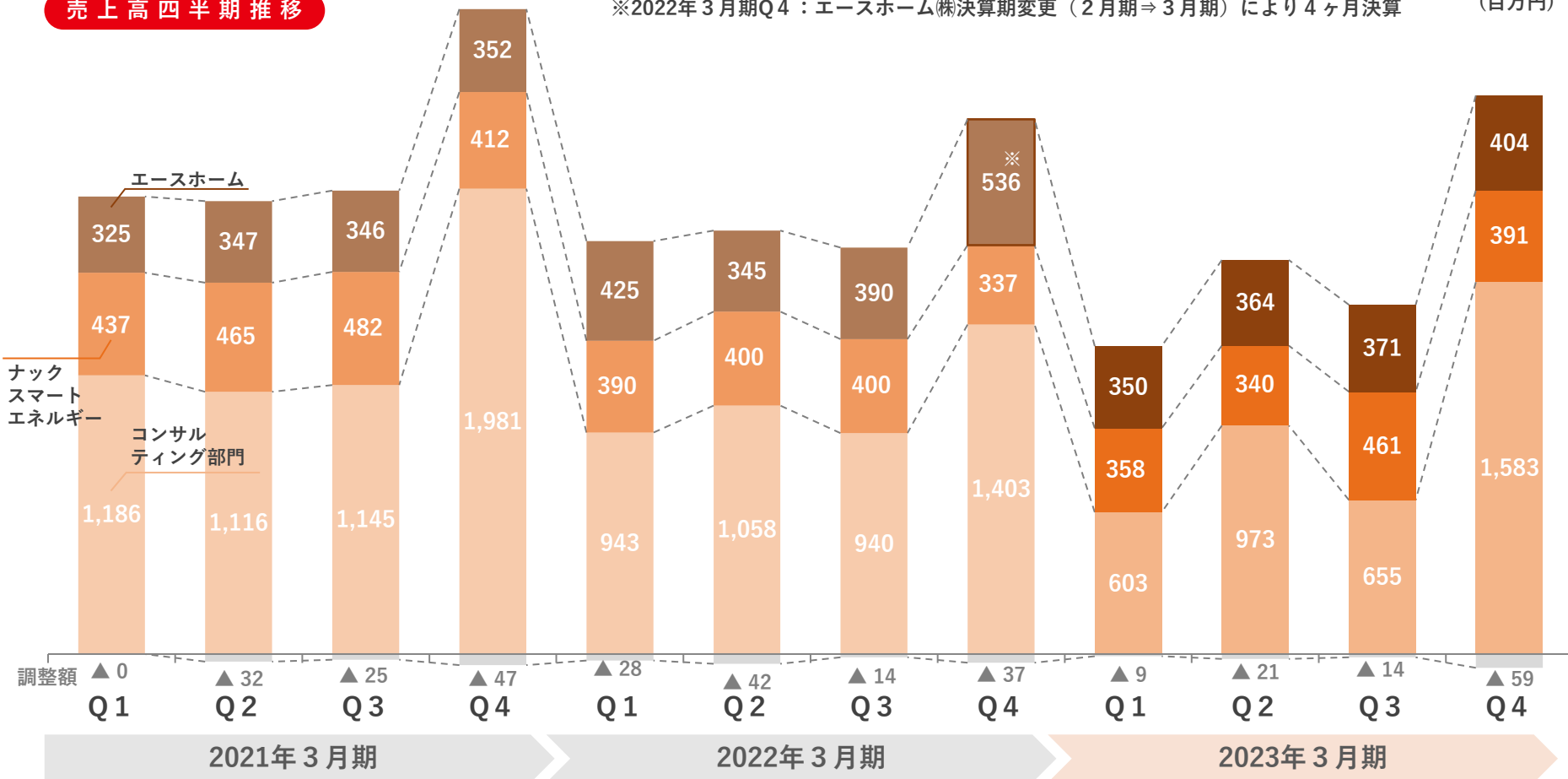
2-3b 建築コンサルティング事業 売上高／営業利益の四半期推移

2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高											
1,949	1,896	1,950	2,699	1,732	1,760	1,717	2,239	1,302	1,657	1,474	2,319
営業利益											
▲ 25	138	188	506	84	212	113	461	▲ 193	134	10	895

売上高四半期推移

※2022年3月期Q4：エースホーム(株)決算期変更（2月期⇒3月期）により4ヶ月決算

(百万円)



◆調整額：主にセグメント内の売上高

2-3c 建築コンサルティング事業 第53期以降の重点施策

コンサルティング
部門

- DXやSDGsを推進する新商品の販売
- 補助金対象商品を活用した営業手法の強化による販売数拡大
- 無料会員制度のサービス拡充と会員向けアフターサポートの強化
- 2023年4月1日に、エースホーム(株)がナックスマートエネルギー(株)を吸収合併
 - ▶ 同日「ナックハウスパートナー(株)」に社名変更
- 両事業のシナジー効果を発揮し脱炭素社会の実現に向けた新サービスを開発・提供

ナック
ハウス
パートナー



Think Tank For Construction

NAC

コンサルティング部門

2023年4月1日にエースホーム(株)が
ナックスマートエネルギー(株)を吸収合併



×



ナックスマートエネルギー(株)

ナックハウスパートナー(株)
に社名変更



NAC HAUS Partner



▶ 住宅ネットワーク事業

(旧：エースホーム(株))



▶ スマートエネルギー事業

(旧：ナックスマートエネルギー(株))

02 セグメント別業績

2-4. 住宅事業

2-4a 住宅事業 売上高および営業利益推移

売上高

ケイディアイ

営業範囲を拡大したが、土地価格上昇や建築部資材の高騰により土地仕入に苦戦、また不動産市場全体が鈍化したことで販売戸数が伸び悩み前期比で同水準（微減）

ジェイウッド

1棟あたりの販売価格上昇や大型物件の販売があったものの、完工棟数が減少したため前期比で減少

営業利益

ケイディアイ

新規出店に伴う費用増加により前期比で減少

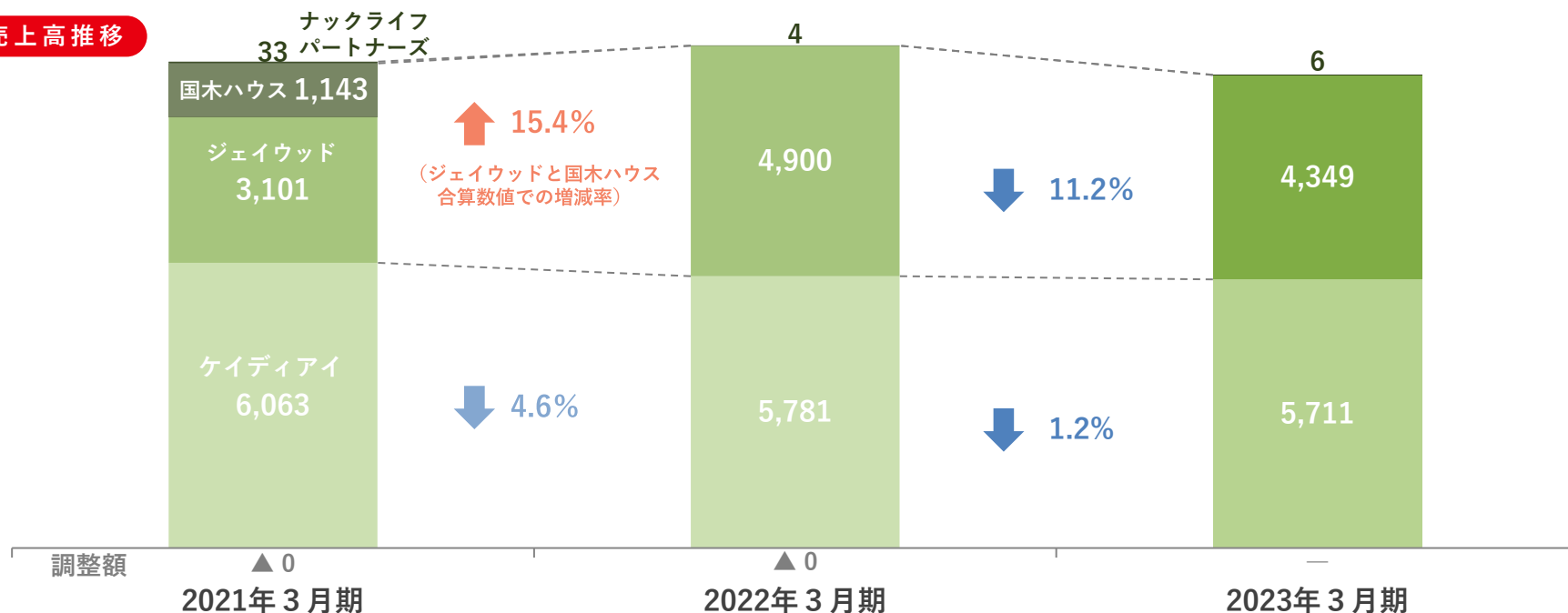
ジェイウッド

建築部資材の高騰や集客促進のための先行投資により営業損失は拡大

売上高	10,341	10,686	10,067	(百万円)
-----	--------	--------	--------	-------

営業利益	74	233	▲ 181
------	----	-----	-------

売上高推移



◆調整額：主にセグメント内の売上高

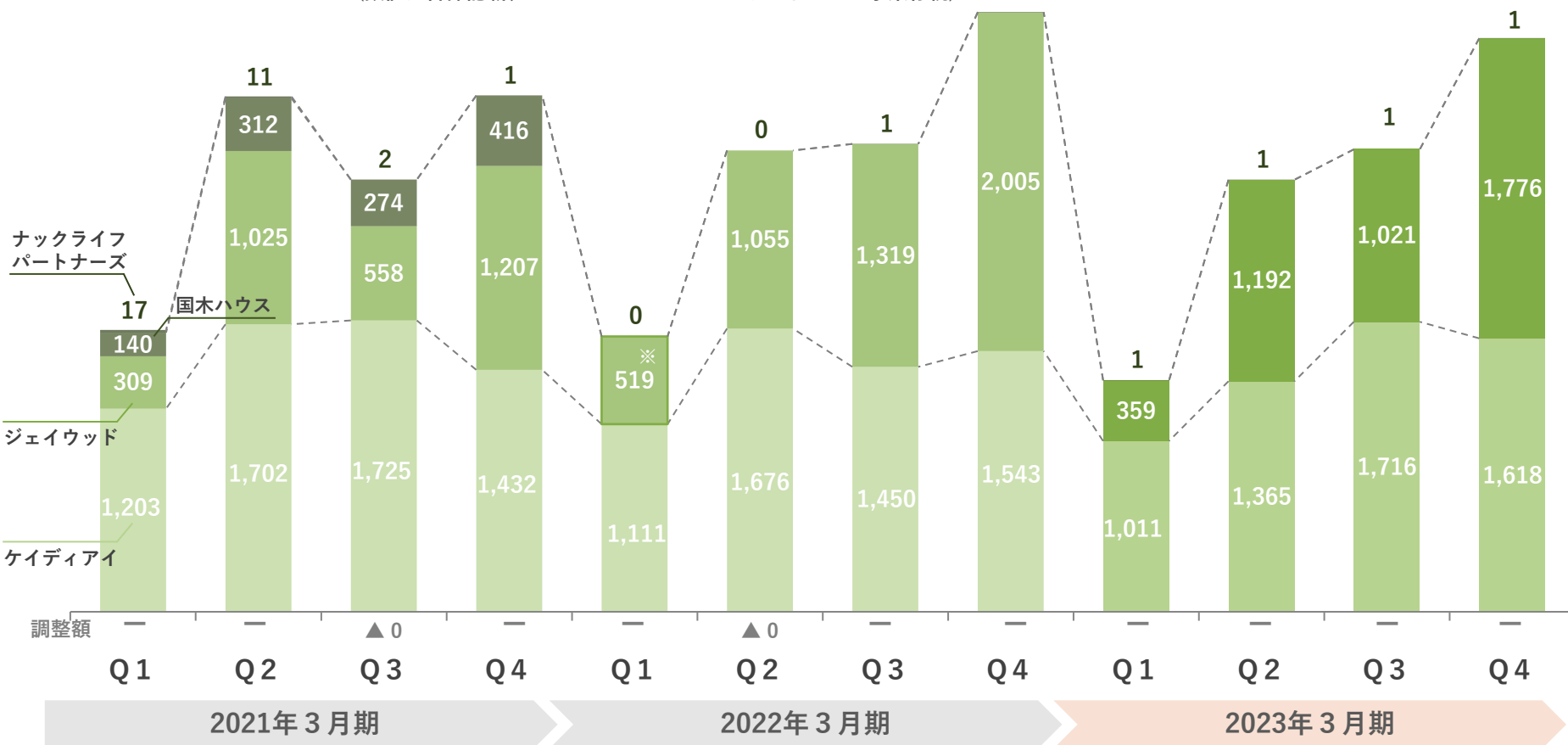
2-4b 住宅事業 売上高／営業利益の四半期推移

2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高											
1,670	3,051	2,562	3,057	1,631	2,732	2,771	3,551	1,371	2,559	2,739	3,396
営業利益											
▲ 156	72	▲ 4	163	▲ 114	53	142	152	▲ 197	▲ 0	▲ 21	38

売上高四半期推移

※2022年3月期 株ジェイウッドが株国木ハウスを吸収合併
(数値は合算記載、KUNIMOKU HOUSEブランドとして事業存続)

(百万円)



◆調整額：主にセグメント内の売上高

2-4c 住宅事業 第53期以降の重点施策

ケイディアイ

- 不動産ソリューションの強化
- 都内23区を中心として用地仕入に注力

ジェイウッド

- JWOOD事業20周年を記念したさまざまなキャンペーン開催
 - ▶ 新たな「ファンづくり」の推進
- KUNIMOKU HOUSE事業では省エネ住宅などの商品ラインナップ充実



KDI-HOME

Kindness, Development, Integrity

～NEW OPEN～

■2022年8月 ケイディアイ吉祥寺店



株式
会社

ジェイウッド

**KUNIMOKU
HOUSE**

02 セグメント別業績

2-5. 美容・健康事業

2-5a 美容・健康事業 売上高および営業利益推移

売上高

JIMOS アップセールの新設分割による減少分を除くと、「SINN PURETÉ」の販売数拡大と2022年7月から「豆腐の盛田屋」が加わったことにより前期比で増加

ベルエアー 主力の栄養補助食品における顧客数減少に伴う販売数減少により前期比で減少

アップセール 医薬品通販事業を譲受するも、ヘアケア事業において他社との価格競争により販売量が縮小したため、新設分割前の事業単位と比較すると前期比で減少

トレミー 需要回復に伴う受注数増加により連結後の同期間と比較して増加

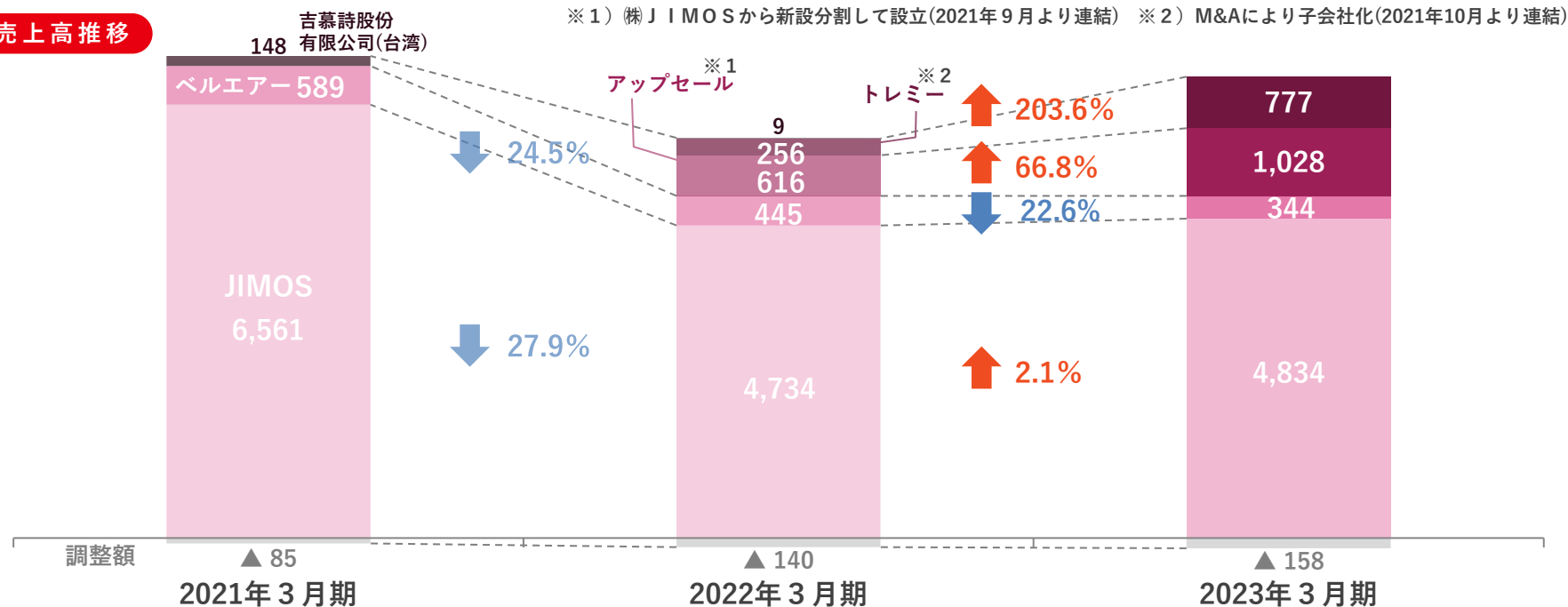
営業利益

(株)アップセールと(株)トレミーの黒字化に伴い前期比で大幅に増加

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
売上高	7,213	5,921	6,826
営業利益	122	151	238

(百万円)

売上高推移

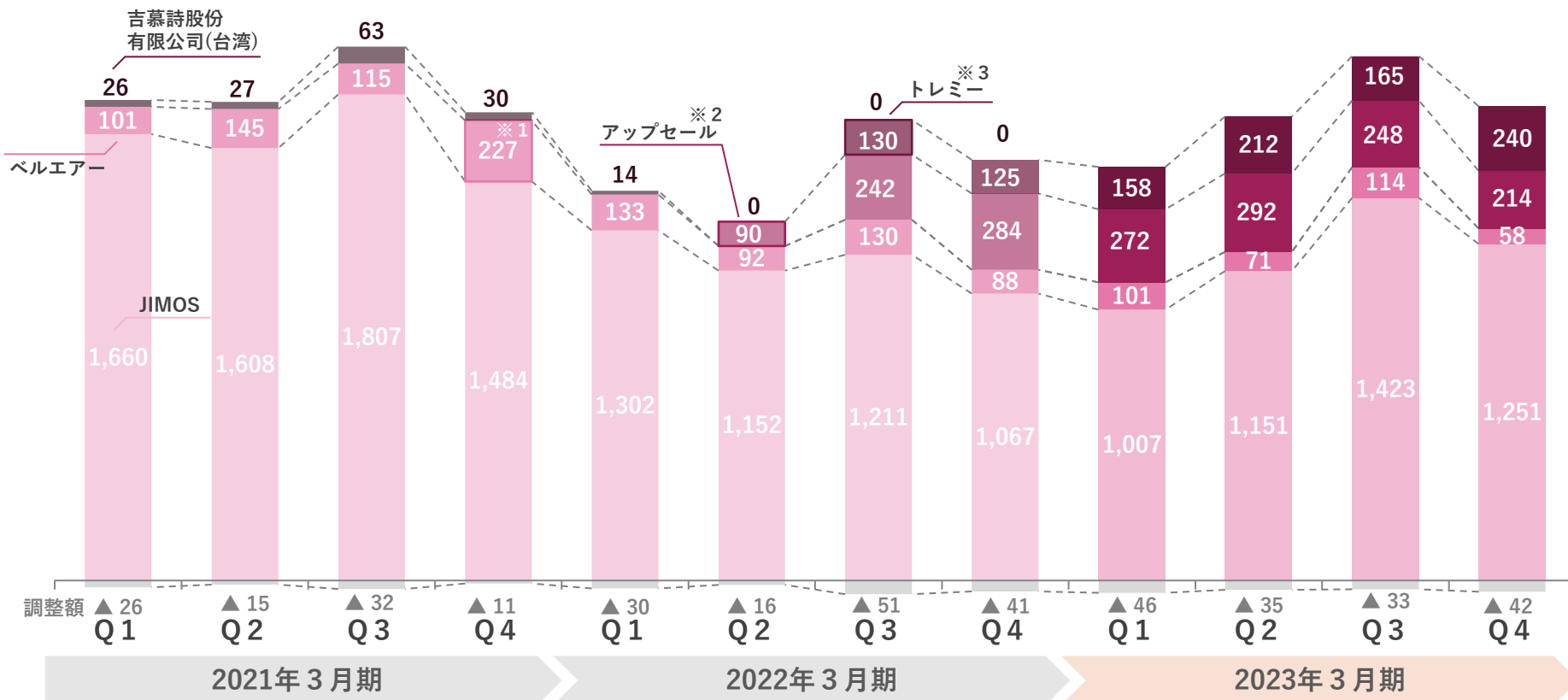


2-5b 美容・健康事業 売上高／営業利益の四半期推移

2021年3月期				2022年3月期				2023年3月期			
Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4	Q1	Q2	Q3	Q4
売上高											
1,763	1,765	1,954	1,730	1,419	1,319	1,658	1,524	1,493	1,691	1,919	1,722
営業利益											
▲67	▲80	158	112	183	128	193	▲353	▲41	▲34	200	113

売上高四半期推移

- (百万円)
- ※1) 2021年3月期4Q：(株)ベルエアー決算期変更(12月期⇒3月期)により6ヶ月決算
 - ※2) (株)JIMOSのインフィニティービューティー事業と代謝生活CLUB事業を新設分割して設立(2021年9月より連結)
 - ※3) M&Aにより子会社化(2021年10月より連結)



◆調整額：主にセグメント内の売上高

2-5c 美容・健康事業 第53期以降の重点施策

JIMOS

- ・ブランド横断的に広告投資の効率化を目的とした組織を新設
- ・既存商品の値上げ実施、新商品やカテゴリの開発による商品ラインナップの充実

ベルエアー

サプリメント販売の原点回帰を掲げ、人生100年時代を見据えた販路拡大

アップセール

通販事業の取扱商品拡充と積極的な商品開発、仕入による収益性向上

トレミー

- ・積極的な医薬部外品のODM提案、生産性向上のための設備および人的投資
- ・引き続きグループ各事業との垂直連携の強化

MACCHIA LABEL
マキアレイベル



coyori



SINN PURETÉ
natural & organics



豆腐の盛田屋



“jimos one to only one”



ベルエアー



UP SALE



☆ TOREMY



03 2024年3月期の業績予想

3-1 連結業績予想

- 2023年3月期に対し、増収増益の見込み
- 2023年3月期に引き続き、新規出店、人的資本や新商品・新サービス、販促活動など顧客獲得のための積極的な先行投資を予定

				(百万円)	
		2024年3月期 予想	2023年3月期 実績	増減額	
売	上	高	60,000	57,068	+ 2,931
営	業	利	3,500	3,232	+ 267
経	常	利	3,500	3,243	+ 256
親	会	社	2,200	2,002	+ 197
当	期	純			
		利			
		益			
E	P	S	97.94円	89.14円	+ 4.12円

3-2 連結業績予想：セグメント別売上高

(百万円)

	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績	増減額
ク リ ク ラ 事 業	15,000	14,733	+ 266
レ ン タ ル 事 業	16,500	18,722	▲ 2,222
建 築 コ ン サ ル テ ィ ン グ 事 業	9,000	6,754	+ 2,245
住 宅 事 業	11,500	10,067	+ 1,432
美 容 ・ 健 康 事 業	8,000	6,826	+ 1,173
消 去 調 整 他 (新 規 ・ M & A 等 を 含 む)	—	▲ 35	—
合 計	60,000	57,068	+ 2,931

3-3 連結業績予想：セグメント別営業利益

(百万円)

	2024年3月期 予想	2023年3月期 実績	増減額
ク リ ク ラ 事 業	1,350 (9.0%)	1,618 (11.0%)	▲ 268 (▲ 2.0pt)
レ ン タ ル 事 業	1,600 (9.7%)	2,050 (11.0%)	▲ 450 (▲ 1.3pt)
建築コンサルティング事業	1,350 (15.0%)	847 (12.5%)	+ 502 (+ 2.5pt)
住 宅 事 業	250 (2.2%)	▲ 181 (▲ 1.8%)	+ 431 (+ 4.0pt)
美 容 ・ 健 康 事 業	400 (5.0%)	238 (3.5%)	+ 161 (+ 1.5pt)
全 社 費 用 等 (新規・M&A等を含む)	▲ 1,450	▲ 1,341	▲ 108
合 計	3,500 (5.8%)	3,232 (5.7%)	+ 267 (+ 0.1pt)

※カッコ内の数値は売上高に対する営業利益率です。

04 配当

4-1 配当方針および配当実績、配当予想

配当方針

純資産配当率（DOE） 4%かつ配当性向100%以内

年間配当額

22 44 38 **40** 42

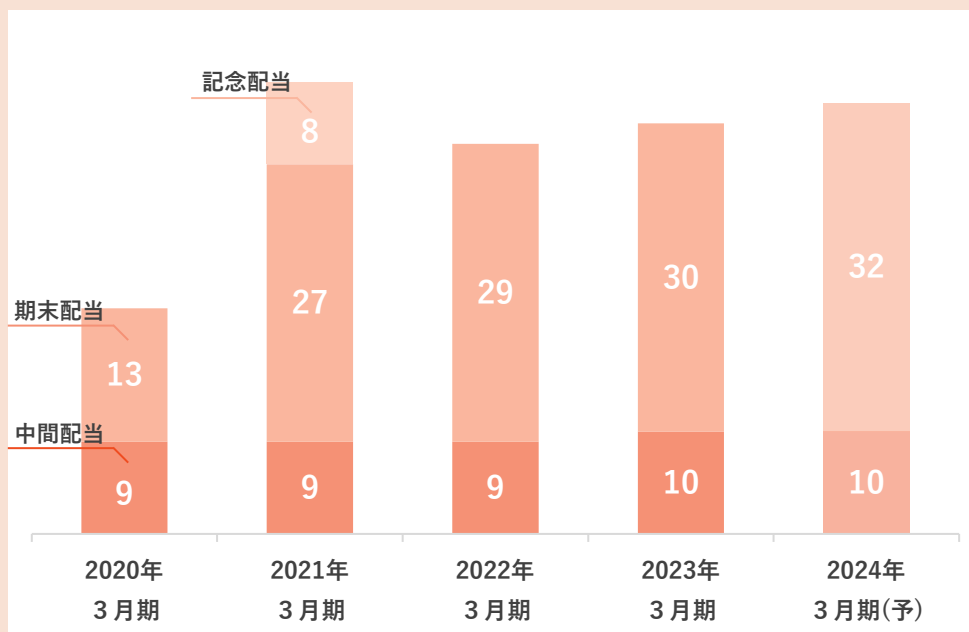
純資産配当率(DOE)

2.5% 4.8%* 3.9% **3.9%** —

配当性向

95.9% 53.6% 49.9% **44.9%** 42.9%

*2021年3月期は、記念配当8円の影響で純資産配当率（DOE）4%を超えております。



株主優待

自社グループ商品（年1回）

2023年3月期の優待品について

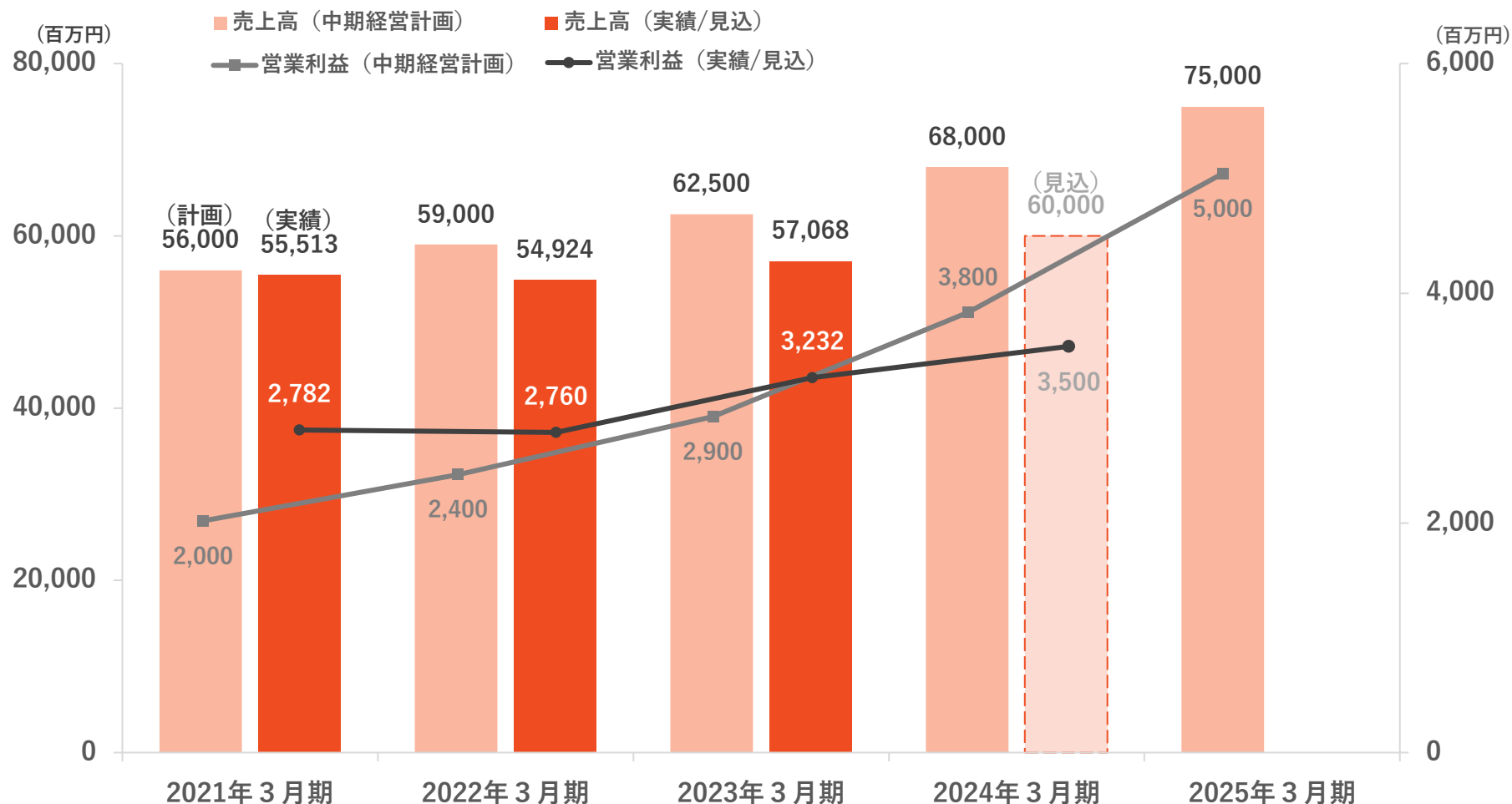
- ・対象：2023年3月31日現在の株主名簿に記載された100株以上ご所有の株主様
- ・贈呈時期：2023年7月上旬予定
- ・贈呈品：(株)JIMOSの自然派ブランド「豆腐の盛田屋」商品3品



05 中期経営計画

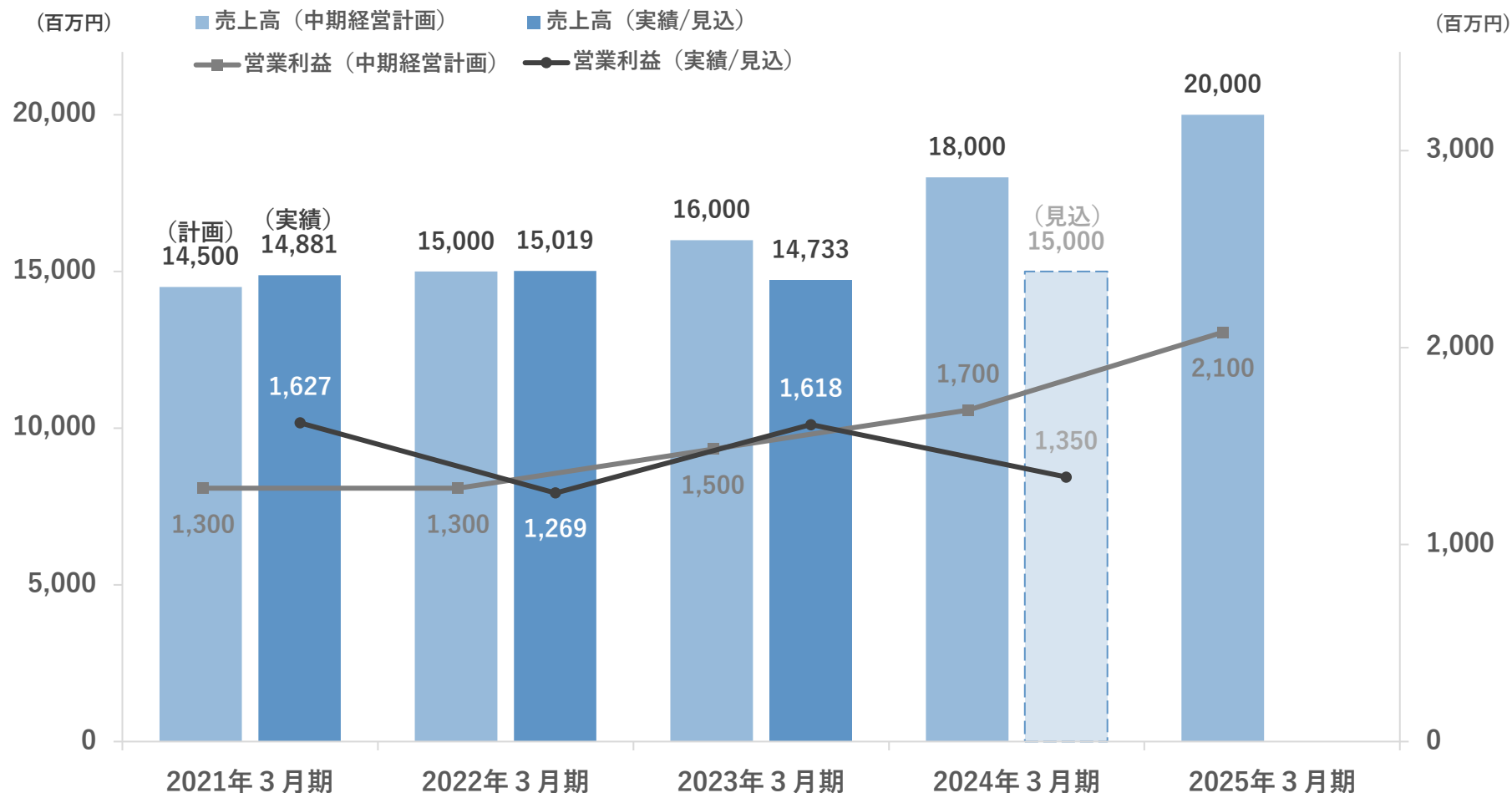
5-1 中期経営計画の状況

- ・ 2024年3月期は引き続きクリクラ事業やレンタル事業を中心に積極的な先行投資を予定
- ・ 前期比増収増益での計画となるが、中期経営計画に対しては減収減益を見込む



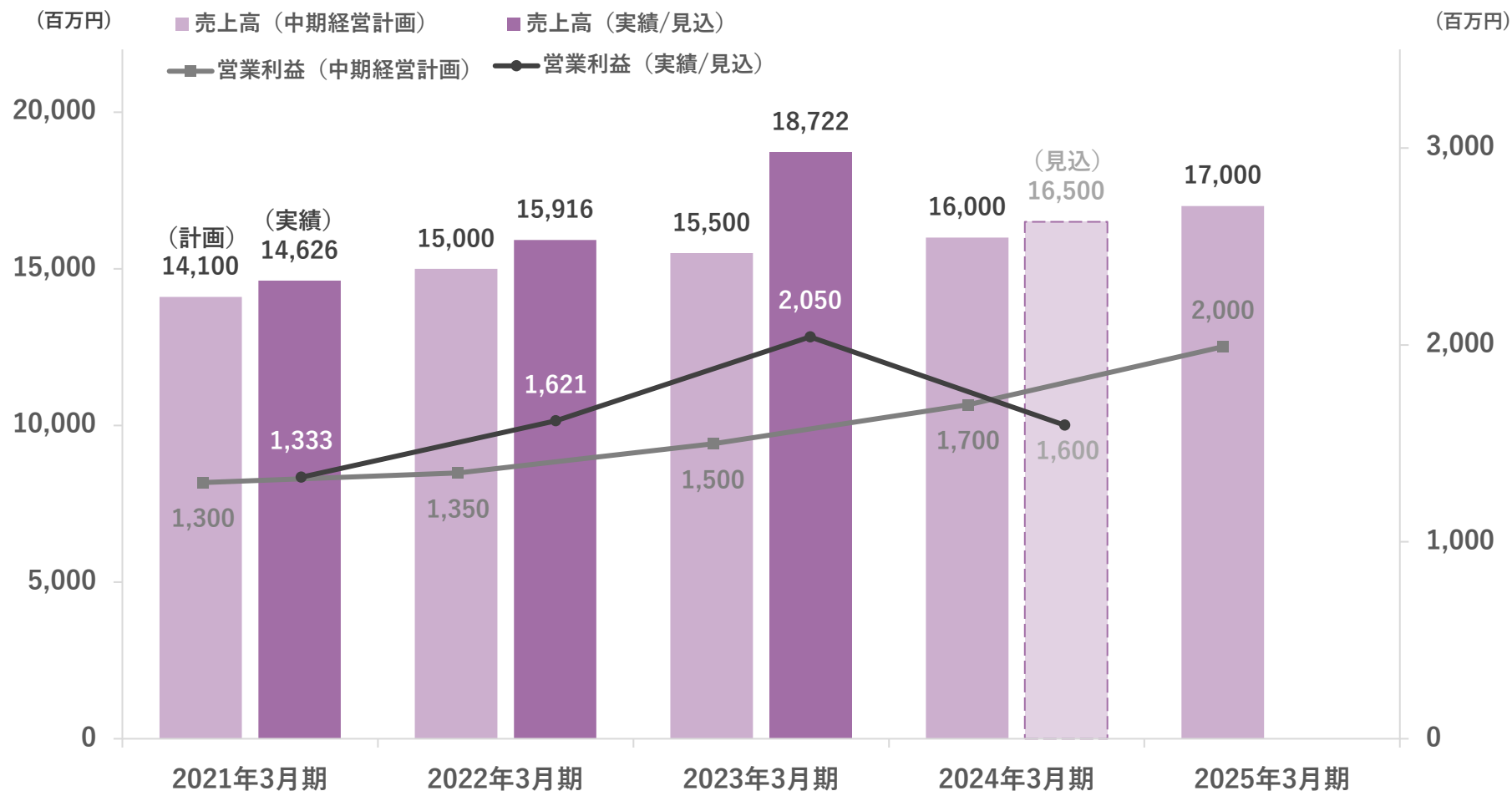
5-1 中期経営計画の状況（クリクラ事業）

- ・積極的な販促活動を予定するため、前期比増収減益での計画
- ・中期経営計画に対しては減収減益を見込む



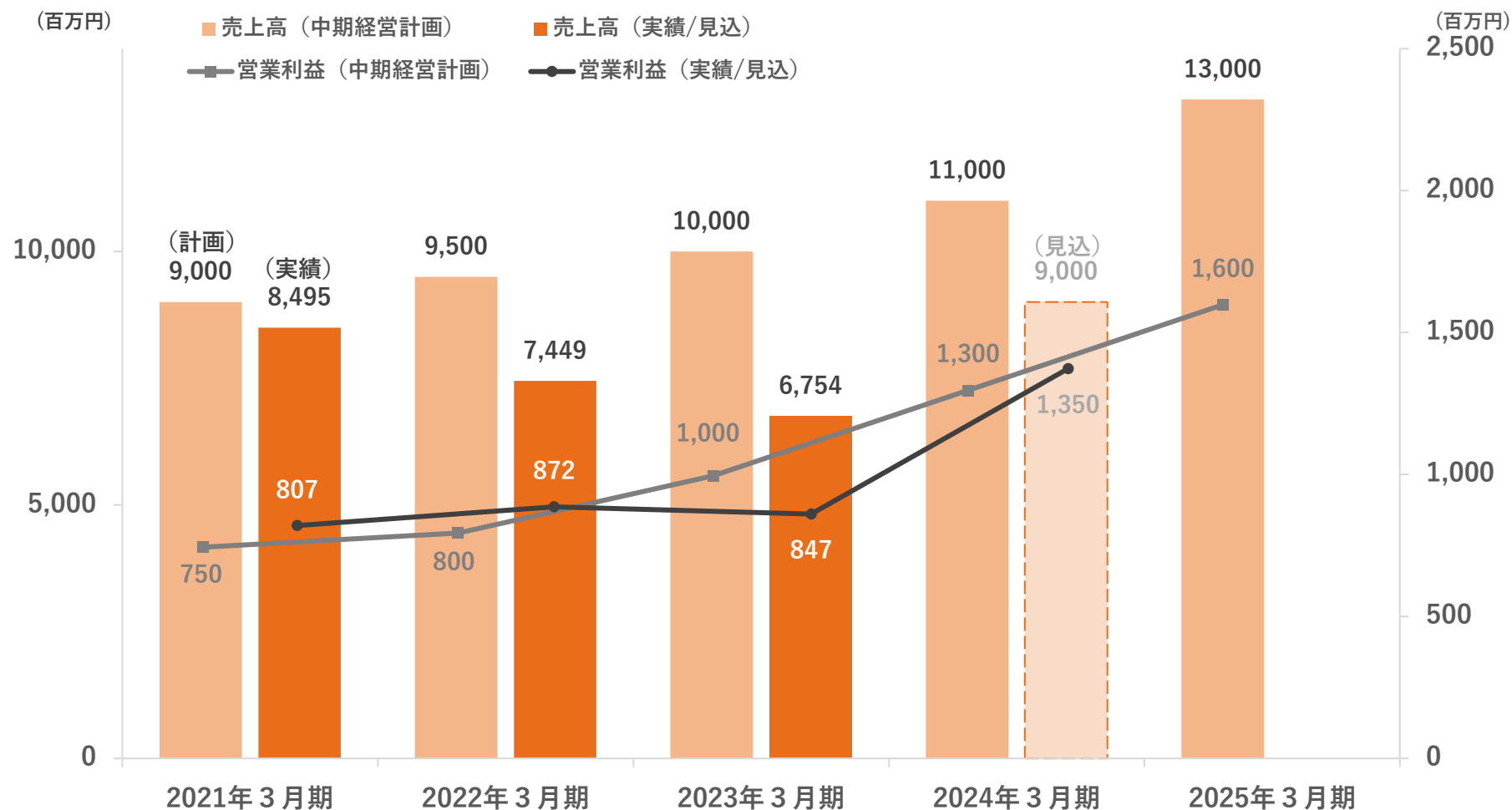
5-1 中期経営計画の状況（レンタル事業）

- ・ 前期比減収減益での計画
- ・ 中期経営計画に対しては増収減益を見込む



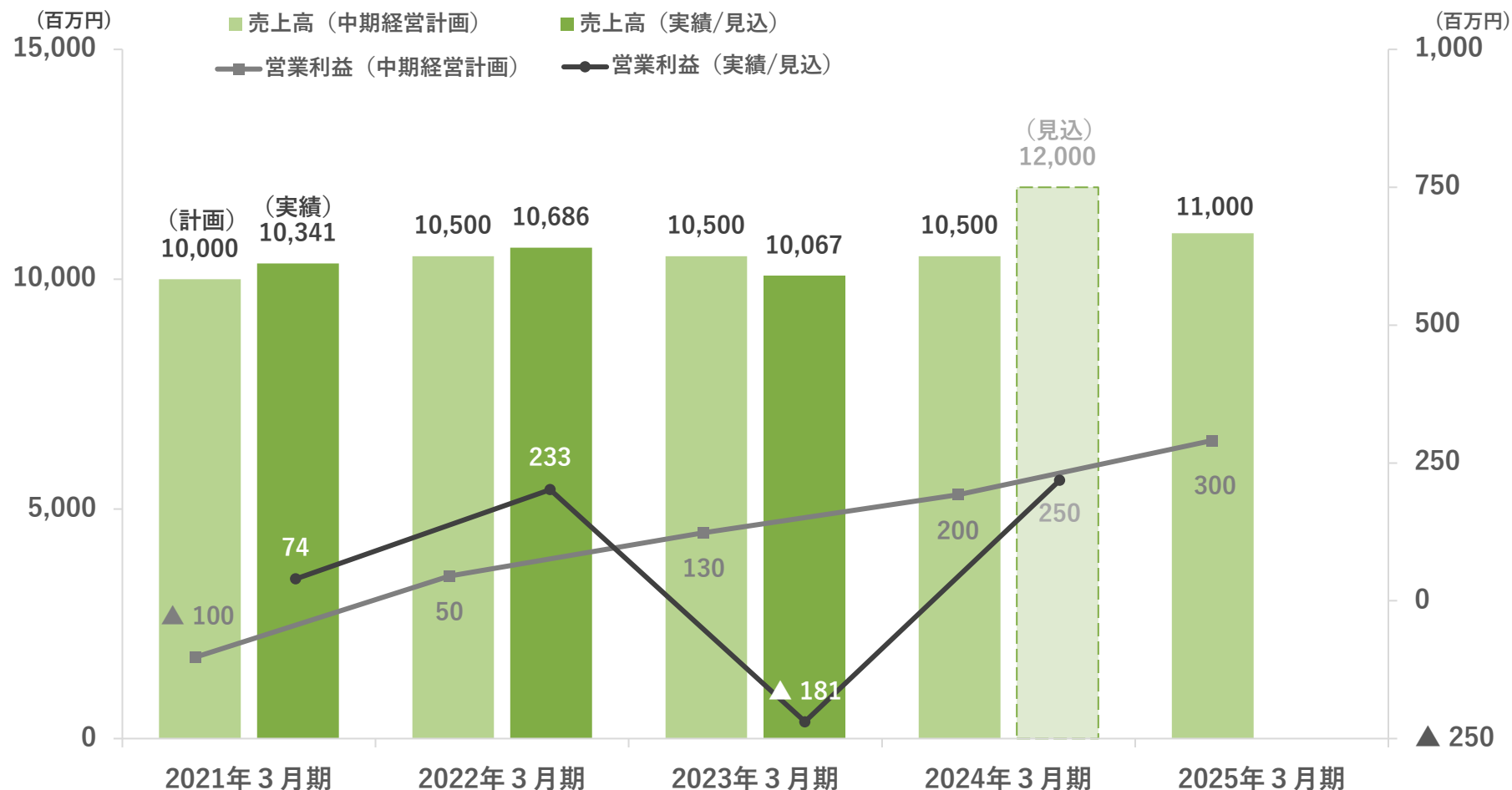
5-1 中期経営計画の状況（建築コンサルティング事業）

- 前期比増収増益での計画
- 中期経営計画に対しては減収増益を見込む



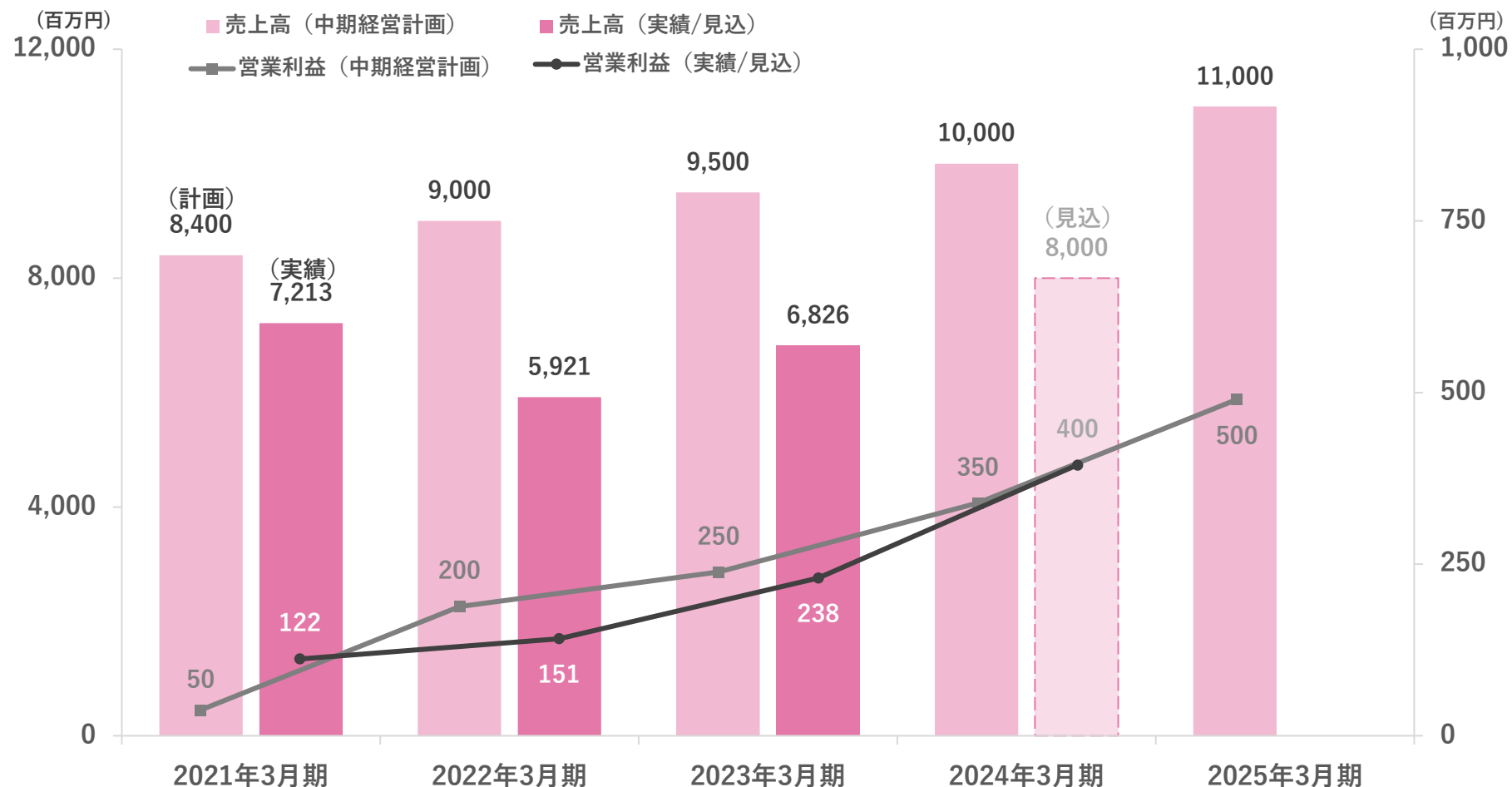
5-1 中期経営計画の状況（住宅事業）

- 前期比増収増益での計画
- 中期経営計画に対しては増収増益を見込む



5-1 中期経営計画の状況（美容・健康事業）

- ・ 前期比増収増益での計画
- ・ 中期経営計画に対しては減収増益を見込む



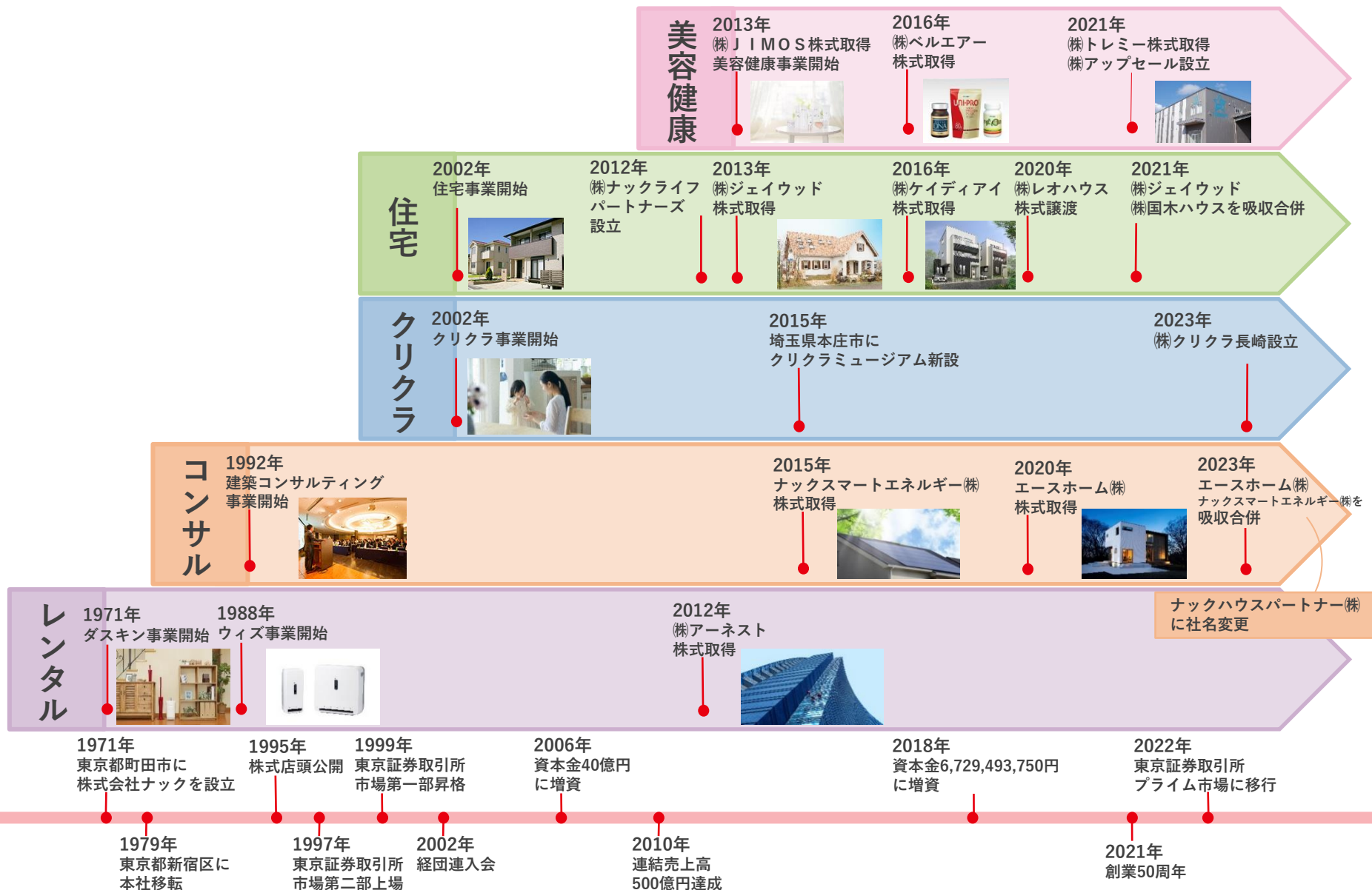
06 会社概要

6-1 会社概要

(2023年3月末時点)

商号	株式会社ナック (NAC CO., LTD.)
所在地	東京都新宿区西新宿一丁目25番1号 新宿センタービル42階
設立	1971年5月20日
代表者	代表取締役社長 吉村 寛
連結子会社	<p>クリクラ 株式会社クリクラ長崎 (宅配水事業) ※2023年4月1日に連結子会社化</p> <p>レンタル 株式会社アーネスト (ビルメンテナンス事業)</p> <p>コンサル ナックハウスパートナー株式会社 (住宅FC事業・省エネ関連部資材の施工と販売) ※2023年4月1日にエースホーム㈱から社名変更、かつナックススマートエネルギー㈱を吸収合併</p> <p>住 宅 株式会社ジェイウッド (注文住宅の建築請負) 株式会社ケイディアイ (分譲・注文住宅) 株式会社ナックライフパートナーズ (金融・福利厚生)</p> <p>美容健康 株式会社 JIMOS (化粧品・健康食品の通販等) 株式会社ベルエアー (栄養補助食品、化粧品の製造販売) 吉慕詩股份有限公司(台湾) (美容・健康事業) 株式会社トレミー (化粧品の開発・製造) 株式会社アップセール (化粧品・健康食品・医薬品の通販等)</p>
従業員数 (正社員)	連結 1,591 名 (パートタイマー、アルバイトは除く)
資本金	6,729,493,750 円
発行済株式数	24,306,750 株 (一単位: 100株)
株主数	17,971 名 (自己名義株式を除く総株主数)

6-2 ナックグループのあゆみ

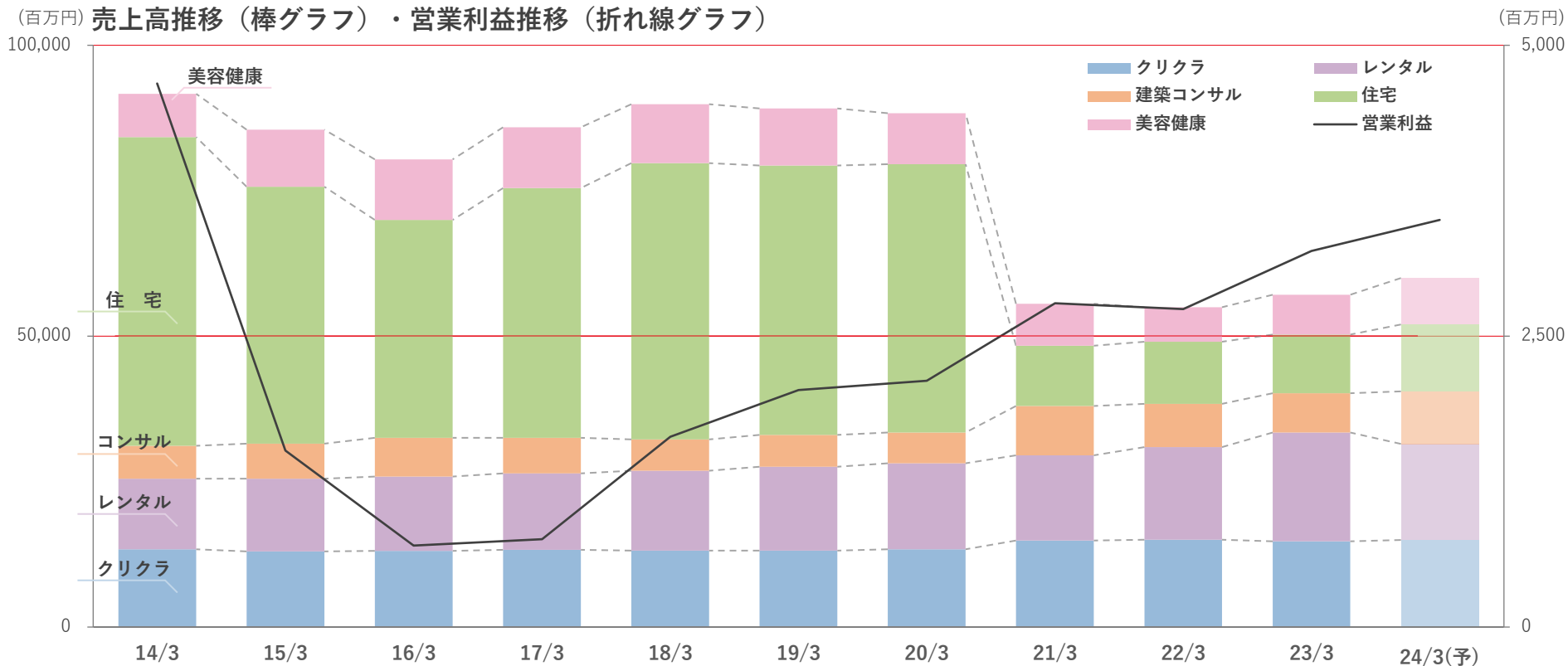


6-3 ナックグループ業績（過去10期＋予想）

2014年 3月期	2015年 3月期	2016年 3月期	2017年 3月期	2018年 3月期	2019年 3月期	2020年 3月期	2021年 3月期	2022年 3月期	2023年 3月期	2024年 3月期(予)
売上高	91,630	85,443	80,302	85,901	89,818	89,111	88,222	55,513	54,924	60,000
営業利益	4,672	1,517	701	756	1,637	2,037	2,118	2,782	2,760	3,500

消費増税反動減により
住宅事業で大幅減少

レオハウス株式譲渡
により収益構造変化



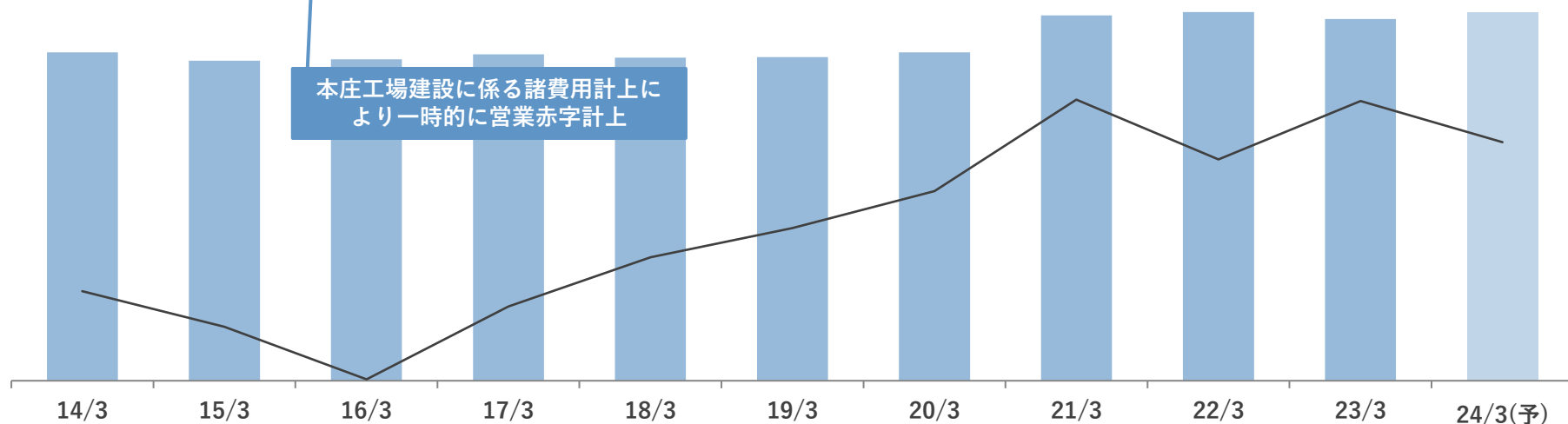
6-4 事業紹介 クリクラ事業

主な構成：(株)ナック クリクラ事業部、(株)クリクラ長崎

- 宅配水「クリクラ」、浄水型ウォーターサーバー「feel free（フィールフリー）」、次亜塩素酸水溶液「ZiACO（ジアコ）」の製造・販売
- クリクラチェーンの本部を運営（加盟店約500社）
- **12年連続**お客様満足度**No. 1**（2022年12月ニフティ株式会社調べ「宅配水に関する調査」）
- **業界初**のecoマークを取得、**業界初**の研究開発専門センター設立
- 2015年4月 埼玉県本庄市に製造工場およびクリクラミュージアム設立
- 2023年4月 (株)クリクラ長崎を子会社化（屋号「クリクラ九十九」）

	(百万円)										
売上高	13,376	13,033	13,095	13,293	13,158	13,179	13,375	14,881	15,019	14,733	15,000
営業利益	375	143	▲ 201	274	596	788	1,030	1,627	1,269	1,618	1,350

売上高推移（棒グラフ） ・ 営業利益推移（折れ線グラフ）



6-5 事業紹介 レンタル事業

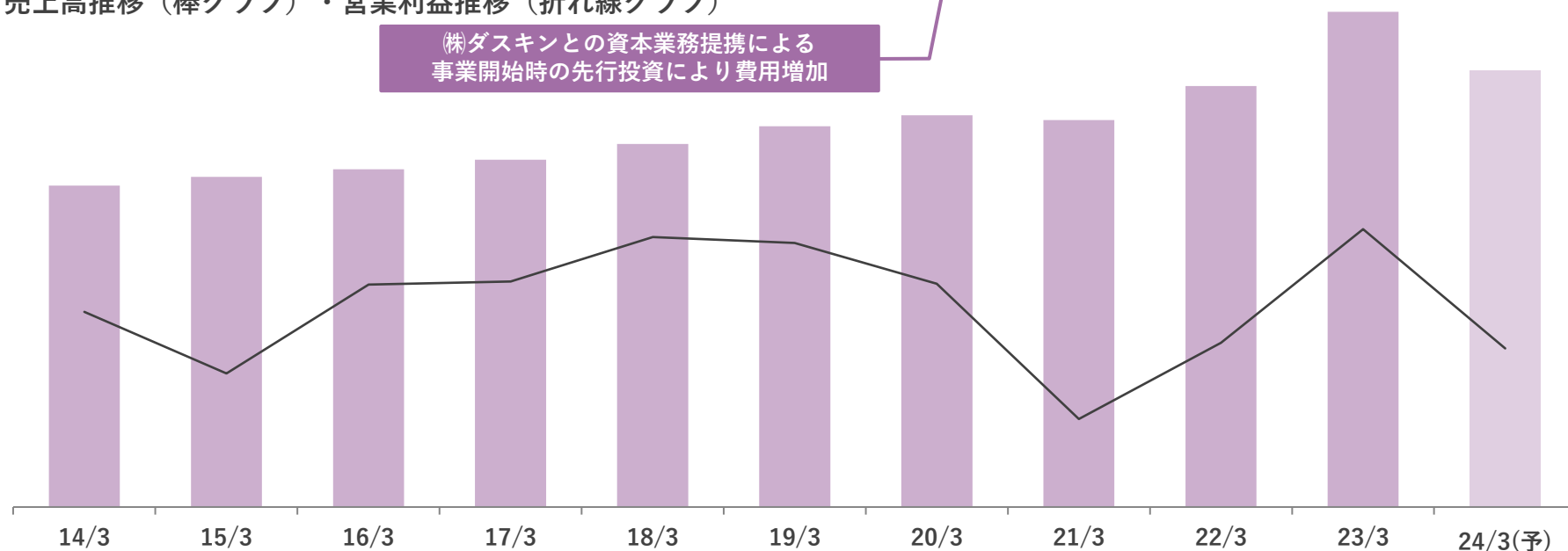
主な構成：(株)ナック ダスキン事業部、ウィズ事業部、(株)アーネスト

- ・ ダストコントロール商品と害虫駆除器のレンタル・販売および定期清掃業務等
- ・ ダスキンフランチャイズディーラー**売上No.1**（約1,900社中）
- ・ **日本初**の厚生労働省承認飲食店向け害虫駆除器「with」
- ・ 2012年3月 (株)アーネストを子会社化（ビルメンメンテナンス事業）
- ・ 2018年8月 (株)ダスキンと資本業務提携契約を締結

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3(予)
売上高	12,147	12,485	12,765	13,135	13,727	14,394	14,808	14,626	15,916	18,722	16,500
営業利益	1,738	1,505	1,841	1,853	2,021	1,998	1,844	1,333	1,621	2,050	1,600

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）

(株)ダスキンとの資本業務提携による
事業開始時の先行投資により費用増加



6-6 事業紹介 建築コンサルティング事業

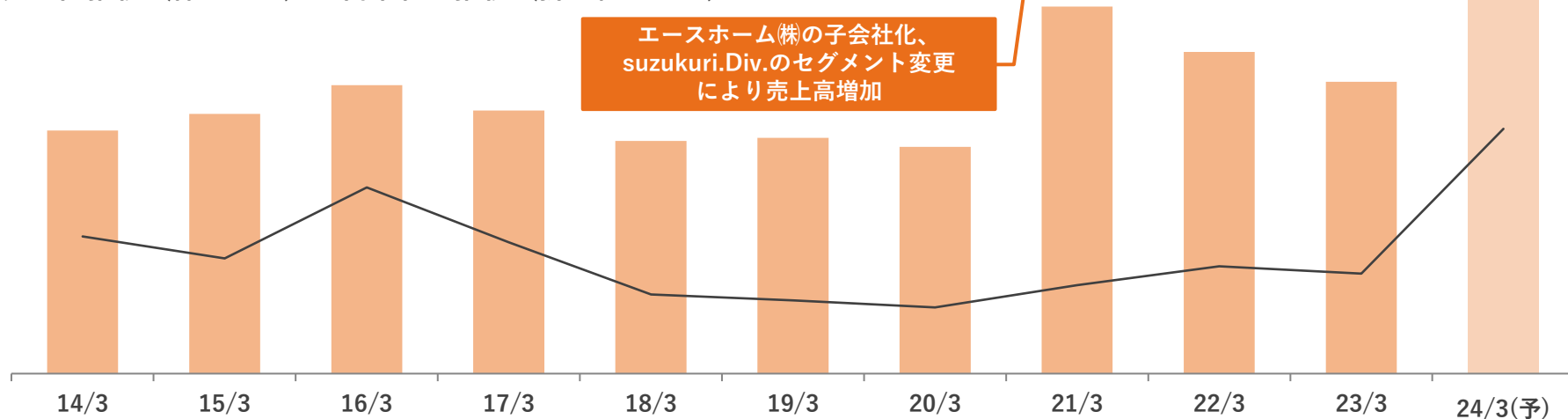
主な構成：(株)ナック 建築コンサルティング事業部、ナックハウspartner(株)

- 地場工務店への建築ノウハウ商品及び建築部資材の販売と施工、住宅フランチャイズ事業
- ナック会員工務店 **約7,000社**
- 2015年9月 ナックスマートエネルギー(株)※以下「NSE(株)」を子会社化(省エネ商材販売・施工)
- 2017年4月 (株)suzukuriを子会社化(異業種と提携した住宅事業を展開)
(2020年4月に住宅事業セグメントから変更後、suzukuri Div.として継続)
- 2020年2月 エースホーム(株)を子会社化(住宅フランチャイズ事業)
- 2023年4月 エースホーム(株)がNSE(株)を吸収合併、ナックハウspartner(株)に社名変更

売上高											(百万円)
5,628	6,014	6,676	6,089	5,383	5,459	5,251	8,495	7,449	6,754	9,000	
営業利益											
976	900	1,146	956	775	754	730	807	872	847	1,350	

売上高推移(棒グラフ)・営業利益推移(折れ線グラフ)

エースホーム(株)の子会社化、
suzukuri.Div.のセグメント変更
により売上高増加



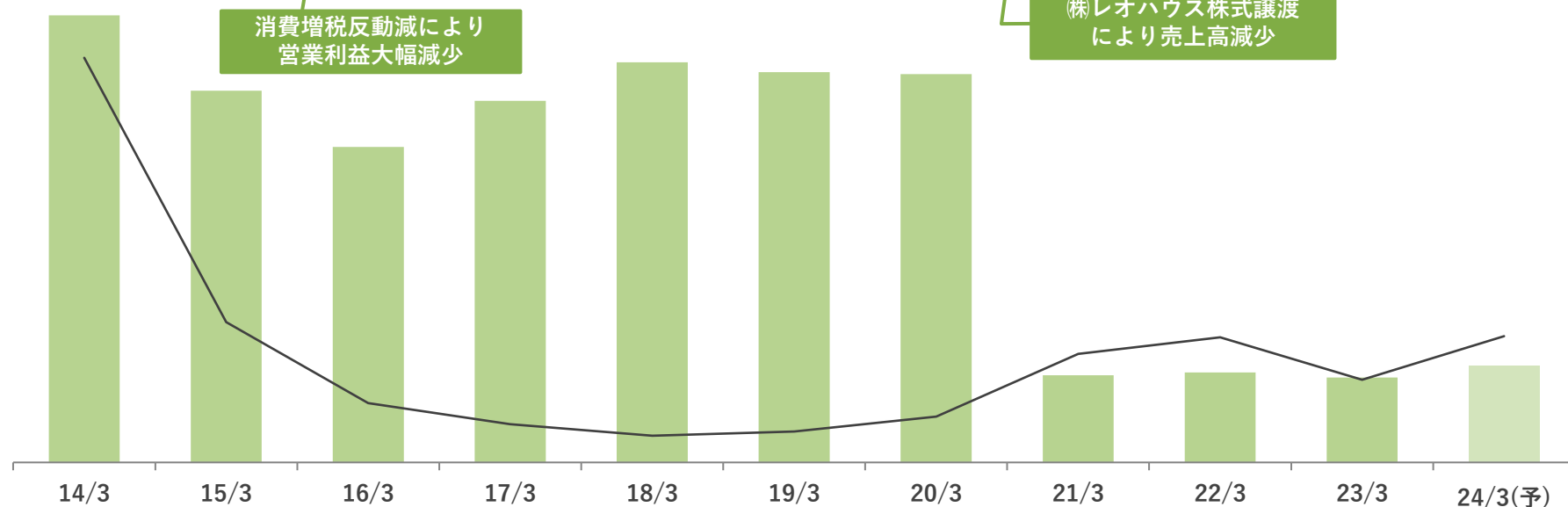
6-7 事業紹介 住宅事業

主な構成：(株)ケイディアイ、(株)ジェイウッド、(株)ナックライフパートナーズ

- 戸建注文住宅の建築請負、分譲住宅の販売及びそれに付随する金融・保険業務
- 2013年7月 (株)ジェイウッドを子会社化（自然素材の注文住宅）
- 2016年5月 (株)ケイディアイを子会社化（首都圏での分譲・注文住宅）
- 2017年6月 (株)国木ハウスを子会社化（北海道で住宅事業を展開）
- 2021年4月 (株)ジェイウッドが(株)国木ハウスを吸収合併（KUNIMOKU HOUSE事業として継続）

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3(予)
売上高	53,059	44,134	37,452	42,936	47,492	46,318	46,101	10,341	10,686	10,067	11,500
営業利益	3,003	388	▲ 412	▲ 622	▲ 736	▲ 694	▲ 545	74	233	▲ 181	250

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）



6-8 事業紹介 美容・健康事業

主な構成：(株)JIMOS、(株)ベルエアー、(株)トレミー、(株)アップセール

- 化粧品・健康食品及び美容材料等の通信販売
- 2013年7月 (株)JIMOSの子会社化により美容・健康事業参入
20～60代の女性を中心に、「マキアレイベル」など4ブランドを展開
- 2016年12月 (株)ベルエアーを子会社化（サプリメント販売）
- 2021年7月 (株)トレミーを子会社化（化粧品の受託製造）
- 2021年9月 (株)アップセールを設立

	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3	24/3(予)
売上高	7,421	9,825	10,378	10,463	10,115	9,801	8,764	7,213	5,921	6,826	8,000
営業利益	▲199	▲222	▲105	▲457	147	255	125	122	151	238	400

売上高推移（棒グラフ）・営業利益推移（折れ線グラフ）

